

消防



2023 年報 No.73

Ichinomiya City Fire Department Annual Report

一宮市消防本部

一 目 統 計

面積・人口・世帯数	予 算	署 所	消防職員
面積 113.82Km ² 人口 379,538人 世帯数 166,564世帯 令和5年4月1日現在	一般会計予算 125,810,000千円 消防予算 4,052,283千円 令和5年4月1日現在	消防本部 1 消防署 3 分署 1 出張所 8 令和5年4月1日現在	条例定数 405人 現員数 398人 令和5年4月1日現在

消防団員	消 防 車 両		1 1 9 番 受 信
条例定数 605人 現員数 493人 令和5年4月1日現在	タンク車 16台 ポンプ車 4台 救急車 14台 はしご車 2台	救助工作車 2台 化学車 1台 その他 30台 合 計 69台 令和5年4月1日現在	火 災 144件 救 急 18,128件 その他 6,451件 合 計 24,723件 令和4年中

火 災	出火原因	救 助	救 急
建 物 32件 車 両 11件 その他 18件 合 計 61件 令和4年中	1位 たき火 7件 2位 放火 6件 3位 たばこ 5件 3位 こんろ 5件 令和4年中	出動件数 243件 活動件数 142件 救助人員 105人 令和4年中	出動件数 19,483件 搬送人員 18,396人 令和4年中

音 楽 隊	査 察 対 象 物	危 険 物 施 設	消 防 ク ラ ブ 会 員
隊員数 36人 令和5年4月1日現在 演奏回数 22回 令和4年度中	特定対象物 2,251か所 非特定対象物 2,777か所 令和5年4月1日現在	製造所 3か所 貯蔵所 255か所 取扱所 148か所 令和5年4月1日現在	幼年 8,394人 少年 6,674人 婦人 293人 令和5年4月1日現在

一宮市民憲章

わたしたちのまち一宮市は、木曾の清流と豊かな濃尾平野にはぐくまれ、先人のたゆまぬ努力により、繊維を中心として発展してきました。

わたしたちは、このまちの市民であることに誇りを持ち、互いに手をたずさえて、未来へはばたく「心ふれあう躍動のまち一宮」をつくることをめざし、ここにこの憲章を定めます。

1. **い**のちを大切にし、
だれもが安心して暮らせる 福祉のまちをつくります。
1. **ち**きゅうを愛し、
自然も人も共生できる 住みよいまちをつくります。
1. **の**びやかに青少年が育ち、
個性を生かす 教育と文化のまちをつくります。
1. **み**どり豊かなふるさとを守り、
活力ある産業のまちをつくります。
1. **や**さしさと思いやりに満ち、
夢と希望があふれるまちをつくります。

[平成 19 年 3 月 28 日制定]

はじめに

本市消防本部は、昭和23年に消防本部・消防署を設置して以来、皆様の温かい御支援と努力の積み重ねにより、地域に根ざした防災機関として着実に発展を遂げてまいりました。

令和2年1月に新型コロナウイルス感染症が国内で初めて確認され、本市においても3年以上にわたり感染症患者の救急搬送や消防職団員の感染防止対策など過去に経験したことがない対応を強いられました。令和5年5月8日に感染症法上の位置づけが見直され、対応にも一区切りがついたと感じております。

本市においては幸いにも感染症流行中に大規模な災害は発生しませんでした。全国各地では風水害や地震などの大規模な自然災害が発生しました。

令和3年7月には静岡県熱海市で大規模な土石流災害により多数の死傷者が発生しました。また、令和2年12月から続く能登群発地震では、今年5月に震度6強を記録した地震が発生し、いまだ能登半島を中心に群発的に地震が続いております。

災害は感染症流行中であろうと容赦なくやってくるということを強く印象付けられたとともに、私たちにとって一つの教訓になりました。

今後は感染対策を視野に入れた施設や装備の充実を図り、感染症流行中であっても様々な災害に柔軟に対応できるよう消防力を強化していく所存であります。

本書は、令和5年4月1日現在における本市の消防体制及び令和4年中の市内で発生した火災等の実態を取りまとめて収録したものです。

ご高覧を賜り、本市消防行政の飛躍に向け、市民の皆様の一層のご理解を深めていただくための一助としていただければ幸いです。

令和5年7月

一宮市消防本部

○2023 年度 全国統一防火標語

火を消して 不安を消して つなぐ未来



○令和 4・5 年度 一宮市防火標語

消したっけ たぶんじゃダメだよ 火の始末



○一宮市住宅用火災警報器の設置促進標語

あっ！！火事だ！！

「にげろ」のめざまし じゅうけいき



目 次

I 総 括

市の概要	1
一宮市の人口・世帯数	2
消防機関の配置	3
消防のあゆみ	4
消防の主な行事	7
消防情勢の推移	9
消防本部・消防署の組織	11
消防本部・消防署の事務分掌	12
消防団の組織	13
消防本部・消防署の庁舎現況	14
消防団の庁舎現況	15
消防本部・消防署車両の現勢	17
消防団車両の現勢	20
消防音楽隊のあゆみ	21
消防音楽隊の編成	24
消防音楽隊の活動状況	24

II 総 務

当初予算の推移	25
決算額と構成の推移	25
消防職員の配置	26
消防職員の年齢	28
消防職員の勤続年数	28
消防職員資格等保有状況	29
消防職員教育研修状況	30
災害防止	31
安全管理	31
消防協力者表彰	31
施設・装備充実事業	32

III 通 信 ・ 気 象

指令システム構成図	33
無線設備	34
指令回線等一覧表	35
月別119番受信状況	36

携帯電話からの月別119番受信状況	37
月別気象状況	38
一宮市の警報・注意報発表基準	38

IV 消防団

消防団の現況	39
消防団及び消防団員の状況	39
消防団の活動状況	39
団員報酬額	40
費用弁償	40
消防団員の退職状況	40
消防団員の新任状況	40
消防団員の勤続年数	40
消防団員の職業構成と就業形態	40
消防団員の年齢	41

V 予防

火災予防普及活動状況	43
幼年・少年・婦人消防クラブの現況	43
街頭消火器設置状況	44
街頭消火器火災使用状況	45
査察対象物数	46
各種届出件数	47
用途別同意建築物数	48
危険物施設数	49
指定数量の倍数・類別危険物施設数	50
危険物施設の設置・変更許可等	51
タンク検査状況	51
危険物施設届出等状況	51

VI 火災

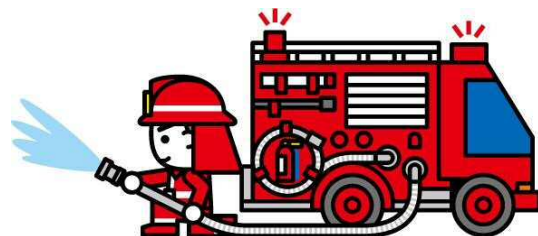
火災の概況	52
出火原因	53
建物用途別・原因別件数	54
連区・月別の火災件数	55
過去10年間の火災発生件数	57
高速道路の火災	58

VII 警 防

消 防 車 両 の 配 置 状 況	59
災 害 種 別 の 出 動 状 況	60
月 別 庁 外 業 務 活 動 状 況	61
消 防 活 動 用 資 器 材 の 配 置	62
消 防 水 利 の 現 況	64
応 援 協 力 計 画	65
緊 急 消 防 援 助 隊	66

VIII 救 急 ・ 救 助

過 去 10 年 間 の 救 急 活 動 状 況	68
曜 日 ・ 月 別 救 急 出 動 件 数	69
曜 日 ・ 月 別 救 急 搬 送 人 員	70
連 区 別 救 急 出 動 件 数	71
連 区 別 救 急 搬 送 人 員	72
現 場 到 着 所 要 時 間 別 救 急 出 動 件 数	73
病 院 収 容 所 要 時 間 別 救 急 搬 送 人 員	73
年 齢 区 分 ・ 傷 病 程 度 別 救 急 搬 送 人 員	74
救 急 高 度 化 の 推 移	75
救 急 隊 員 の 行 っ た 応 急 処 置 等 件 数	76
高 速 道 路 の 救 急 活 動 状 況	78
応 急 手 当 等 の 普 及 活 動 状 況	79
救 助 活 動 状 況	80
月 別 救 助 出 動 状 況	81
救 助 訓 練 等 実 施 状 況	82



總括



市の概要

一宮市は、広大な濃尾平野のほぼ中央に位置し、温和な気候、風土に恵まれ、早くから発展してきました。

大正10年9月1日に市制を施行、昭和15年に葉栗村、西成村と合併して市域を拡大し、近代都市としての形態を整えるに至りました。

そして、昭和30年1月に丹陽村と浅井町、4月に北方村、大和町、今伊勢町、奥町、萩原町、千秋村とそれぞれ合併し、さらに平成17年4月に尾西市、木曽川町と合併し現在の113.82 km²の都市が実現しました。

令和5年4月1日現在、人口379,538人、世帯数166,564世帯となり、市北部から西部へと約18キロメートルにわたって接する木曽川がはぐくんだ豊かな自然や、これまで蓄積された歴史・文化を礎に、安心・元気・協働の基本理念のもと、「木曽の清流に映え、心ふれあう躍動都市 一宮」を将来像としたまちづくりを目指し躍進を続けています。

愛知県



一宮市



■位置：北緯35度18分、東経136度48分

■面積：113.82 km²

東西15.3 km、南北13.3 km

■人口：379,538人

男185,327人 女194,211人

■世帯数：166,564世帯

■人口密度：3,335人/km²

(令和5年4月1日現在)

■Location: Lat. 35° 18' N & Long. 136° 48' E

■Area: 113.82 km²

East-West: 15.3 km North-South: 13.3 km

■Population: 379,538 people;

Male: 185,327 people, Female: 194,211 people

■Number of households: 166,564 households

■Population density: 3,335 people/km²

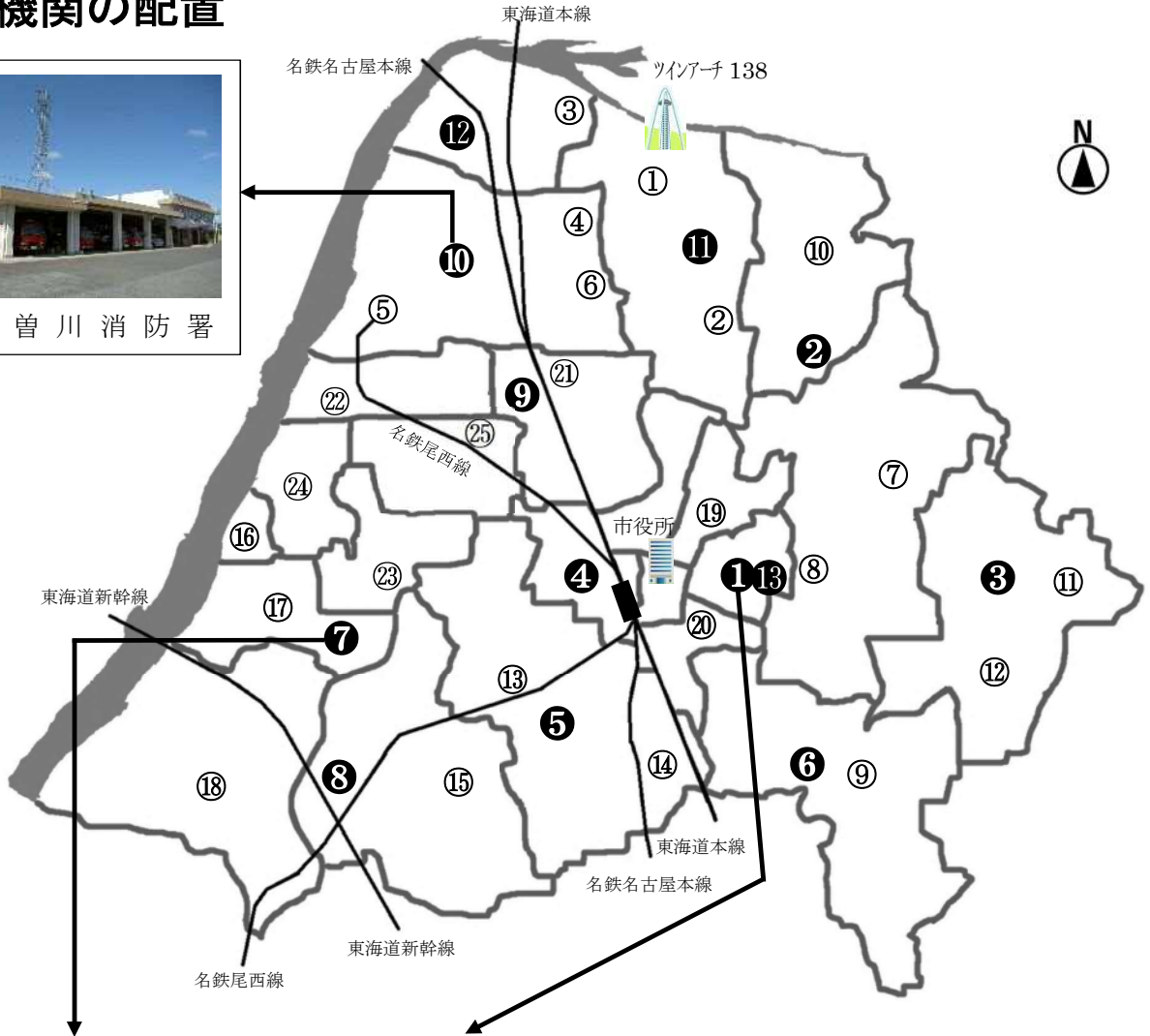
(As of April. 1. 2023)

一宮市の人口・世帯数

令和5年4月1日現在

区 分	世 帯 数	人 口		
		総 数	男	女
合 計	166,564	379,538	185,327	194,211
宮 西	5,250	11,587	5,561	6,026
貴 船	5,281	11,479	5,509	5,970
神 山	7,359	15,552	7,576	7,976
大 志	2,413	4,949	2,340	2,609
向 山	4,165	9,144	4,441	4,703
富 士	4,327	9,386	4,510	4,876
葉 栗	6,863	16,322	7,979	8,343
西 成	14,579	34,187	16,751	17,436
丹 陽 町	12,918	28,478	14,372	14,106
浅 井 町	8,361	19,188	9,287	9,901
北 方 町	3,886	9,252	4,517	4,735
大 和 町	18,886	42,284	20,735	21,549
今 伊 勢 町	11,781	26,443	12,922	13,521
奥 町	5,940	14,144	6,834	7,310
萩 原 町	7,744	17,864	8,635	9,229
千 秋 町	6,960	17,074	8,340	8,734
起	1,473	3,252	1,586	1,666
小 信 中 島	4,454	10,716	5,239	5,477
三 条	5,858	13,396	6,437	6,959
大 徳	4,519	10,214	5,036	5,178
朝 日	5,285	12,232	5,989	6,243
開 明	3,624	8,317	4,051	4,266
木 曾 川 町	14,638	34,078	16,680	17,398

消防機関の配置



※詳しくはこちらをご覧ください

一宮市公式ウェブサイト内
地図情報サイト「138 マップ」

<https://www.sonicweb-asp.jp/ichinomiya>

【施設・地域情報】



【消防施設】



消防本部・消防署・出張所・倉庫	
① 消防本部	⑦ 尾西消防署
一宮消防署本署	⑧ 萩原消防出張所
② 浅井・西成消防出張所	⑨ 今伊勢・奥消防出張所
③ 千秋消防出張所	⑩ 木曽川消防署
	消防署整備工場
④ 八幡消防分署	⑫ 北方消防出張所
⑤ 大和消防出張所	⑬ 緑消防倉庫
⑥ 丹陽消防出張所	

分団庁舎			
北部 方面隊	東部 方面隊	南部 方面隊	西部 方面隊
① 葉栗北	⑦ 西成北	⑬ 大和西	⑲ 真清北
② 葉栗南	⑧ 西成南	⑭ 大和東	⑳ 真清南
③ 北方	⑨ 丹陽	⑮ 萩原	㉑ 今伊勢
④ 木曽川北	⑩ 浅井	⑯ 起	㉒ 奥
⑤ 木曽川西	⑪ 千秋北	⑰ 大徳	㉓ 三条
⑥ 木曽川東	⑫ 千秋南	⑱ 朝日	㉔ 小信中島
			㉕ 開明

消防のあゆみ

(一):旧一宮市消防本部

(尾):旧尾西市消防本部

(木):旧木曾川町消防本部

昭和23年 3月(一)	消防組織法施行により一宮市消防本部を創設し、従来の常備消防部を消防署に昇格
昭和23年 3月(木)	消防組織法施行により警察機関から分離した消防団発足
昭和25年11月(一)	消防庁舎(旧庁舎)が新柳通1の29地内(現本町1丁目)に完成
昭和25年12月(一)	市を縦断する東海道線の西部地区警備体制強化のため、八幡出張所を開所
昭和30年 1月(尾)	中島郡起町と朝日村が合併し市制を施行、尾西市が誕生と同時に尾西市消防団を設置、1団制6分団、消防ポンプ自動車6台、団員195名で発足
昭和30年 4月(尾)	尾西市に中島郡今伊勢町開明地区を編入、境界変更に伴い消防団を再編、1団制7分団、消防ポンプ自動車7台、団員227名で再発足
昭和33年 9月(一)	消防署に救護隊を新設し救急業務を開始
昭和33年10月(尾)	市総務課に中短波無線電話を設置
昭和35年 4月(一)	奥出張所を奥町字下口西地内に開所
昭和35年 9月(尾)	市総務課に職員7名をもって常備消防体制が発足
昭和35年10月(尾)	尾西市消防本部設置条例を制定
昭和35年12月(一)	萩原出張所を萩原町萩原地内に開所
昭和36年 9月(一)	浅井出張所を浅井町東浅井地内に開所 東部出張所を千秋町佐野地内に開所 なお敷地内に整備工場を併設し、業務を開始
昭和37年 4月(尾)	消防本部職務規則を制定し救急業務開始
昭和37年 9月(一)	南部出張所を丹陽町猿海道地内、北部出張所を大字更屋敷地内に開所
昭和39年 3月(尾)	昭和35年制定の消防本部設置条例を廃止し、新たに消防本部・署設置条例を制定
昭和39年 9月(尾)	昭和37年制定の消防本部職務規則を廃止し、新たに消防本部組織及び職務規則並びに消防署職務規程を制定
昭和40年 6月(尾)	消防庁舎が東五城地内に完成(旧庁舎)
昭和43年 4月(一)	消防庁舎(本部・本署)が花祇通6丁目(現庁舎)に完成
昭和43年 4月(木)	政令指定により消防本部(署)発足・消防庁舎(旧庁舎)完成
昭和45年 2月(木)	救急車(兼広報車)を購入し救急業務開始
昭和53年 5月(木)	消防庁舎が黒田地内に完成(現木曾川署)
昭和55年 1月(一)	大和出張所を大和町苧安賀地内に開所
昭和57年 1月(一)	西成出張所を大字西大海道地内に開所

昭和57年 6月(尾)	消防本部組織及び職務規則並びに消防署職務規程を改正し、消防本部は庶務係、消防係、予防係の3係、消防署は警備第1・2係、通信第1・2係、整備係の5係
昭和61年 1月(一)	今伊勢消防出張所を今伊勢町馬寄地内に開所 出張所の名称が変更され、南部出張所が丹陽出張所に、東部出張所が千秋出張所になり、出張所の名称を「消防出張所」と改称
昭和62年 3月(一)	葉栗消防出張所を大字大毛地内に救急業務を主体として開所
昭和63年 1月(一)	消防署八幡消防分署に部隊を増強、東西の出動体制を確立
昭和63年12月(尾)	消防本部及び消防署の組織に関する規則・規程を新たに制定
平成元年10月(一)	大和消防出張所に救急隊を配置
平成元年11月(尾)	消防庁舎が西五城地内に完成(現尾西署)消防緊急通信指令施設(I型)及び消防団緊急伝達システム運用開始
平成 2年 3月	愛知県下広域消防相互応援協定締結
平成 2年 4月(一)	消防本部の組織改革を行い、予防防災課を新設、従来の管理課を総務課と改称
平成 2年 5月	尾張西北部地区消防相互応援協定締結
平成 3年 4月(一)	北部消防出張所が北方消防出張所になり、北方町北方地内に開所 葉栗消防出張所に消防隊を配置
平成 4年 3月(一)	消防緊急通信指令システムを導入し、情報連絡体制を確立 市民への防災思想普及を目指し「一宮市民防災センター」を開所
平成 5年 3月(木)	消防緊急通信指令施設(I型)を運用開始
平成 5年 4月(尾)	消防本部の組織に関する規則を改正、消防署の組織に関する規程を改正
平成 5年 4月(一)	救急救命士1名、救急Ⅱ課程修了者3名により、高規格救急自動車の運用開始
平成 5年 8月(一)	救急救命率向上を目指し、生体情報伝送装置を導入
平成 7年 6月(一)	緊急消防援助隊発足 本市消防は救急部隊を編成登録
平成 8年 1月(木)	消防庁舎車庫増築、救急救命士2名により高規格救急自動車運用開始
平成 9年 3月(一)	浅井消防出張所を浅井町小日比野地内に移転
平成10年12月(一)	千秋消防出張所を千秋町佐野字加村地内に移転
平成11年 4月(一)	東海北陸自動車道の開通に伴い、葉栗消防出張所に救助隊を配置
平成12年11月(尾)	聴覚障害者用119番受信ファクシミリの導入
平成13年 4月(一)	消防本部の組織改革を行い、予防防災課予防防災係を予防係と防災係に分化
平成14年 3月(尾)	消防緊急通信指令施設(I型)を更新
平成14年 4月(一)	千秋消防出張所に救急隊を配置し、救急隊7隊すべて高規格救急自動車で運用
平成14年 4月(尾)	消防本部及び消防署の組織に関する規則を改正し予防係を予防防災係、警備係を火災救助係とした。
平成15年 4月(一)	緊急消防援助隊に消火部隊を編成登録、救急部隊を追加編成登録

平成16年 8月	市町合併を前に消防緊急通信指令システムを更新し、一宮市消防本部と木曽川町消防本部が共同通信運用開始
平成17年 4月	一宮市、尾西市、木曽川町との合併に伴い、一宮市消防本部はそのまま、旧尾西市消防本部は尾西消防署、旧木曽川町消防本部は木曽川消防署に名称変更
平成19年 4月	一宮市消防団3団(一宮・尾西・木曽川)の報酬、費用弁償、階級を統一
平成20年 4月	一宮市消防団3団の連合を一団に統合
平成21年 4月	八幡消防分署に特別救助隊を、丹陽消防出張所に救急隊を配置 女性消防吏員を初採用 一宮市消防団第7方面隊(木曽川)を再編、30分団を26分団とした。
平成23年 4月	萩原消防出張所庁舎移転に伴い、救急隊を配置 尾西消防署に特別消防隊を配置
平成24年 3月	消防緊急通信指令システム部分更新
平成24年 4月	一宮市消防団を再編、26分団を25分団、7方面隊を4方面隊とし、尾西地区の分団名称を変更
平成25年 4月	今伊勢消防出張所と奥消防出張所の統合に伴い、今伊勢・奥消防出張所を開所し、救急隊を配置
平成27年 3月	「一宮市民防災センター」を閉所
平成28年 3月	消防緊急通信指令システム部分更新 消防救急デジタル無線設備整備
平成28年 4月	「一宮市・稲沢市消防指令センター」を運用開始 八幡消防分署の特別救助隊を一宮消防署本署に配置 消防署の組織に関する規程を改正、従来の一宮消防署管理グループを管理課と改称
平成29年 3月	一宮消防署本署に支援車を導入
平成29年 4月	浅井消防出張所と西成消防出張所の統合に伴い、浅井・西成消防出張所を開所し、救急隊を配置 一宮消防署本署に特別消防隊を配置
平成31年 3月	消防緊急通信指令システム部分更新
令和 2年 2月	旧丹陽消防出張所を解体し、訓練スペースを整備
令和 2年10月	Net119緊急通報システムの運用を開始
令和 3年 3月	消防緊急通信指令システム部分更新 一宮消防署本署に救助資機材搬送車を導入
令和 3年 4月	一宮消防署本署に高度救助隊を配置 木曽川消防署に特別救助隊を配置
令和 4年 3月	消防緊急通信指令システム部分更新
令和 4年 4月	消防本部の組織に関する規則を改正し、一宮消防署管理課と総務課内の施設装備担当を統合して消防救急課を創設、消防救急課内に普通勤務の救急隊を配置 消防団員の処遇改善として、年額報酬に加え出動報酬を創設
令和 5年 1月	消防緊急通信指令システム部分更新

消防の主な行事

(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

令和4年			
月	日	行事名	実施場所
4月	3日	消防団員任命式	尾西消防署
5月	5月17日 6月7・14・21日	住宅用火災警報器に関する街頭アンケート 救急啓発活動(熱中症予防)	テラスウォーク一宮、MEGAドン・キホーテ UNY伝法寺店、アピタパワー木曾川店、ピアゴ尾西店
	20日	消防本部安全衛生委員会上半期	消防本部
6月	5日	浅井町連区防災訓練	浅井北小学校、浅井中小学校、浅井南小学校
	9日	危険物施設消防訓練	豊田合成株式会社 尾西工場
	19日	第18回一宮市消防団操法大会	大和中学校
	22・23日	中部電力パワーグリッド株式会社との合同訓練(送電設備)	中部電力パワーグリッド株式会社 岩倉電力センター内送電設備
	27・28日	中部電力パワーグリッド株式会社との合同訓練(配電設備)	中部電力パワーグリッド株式会社 殿町訓練場
7月	27日	消防職員委員会	消防本部
8月	6日	第67回愛知県消防操法大会	常滑市
9月	5日	一宮市救急フェア	テラスウォーク一宮
	10日	一宮市救急フェア	イオンモール木曾川
	18日	消防団員研修会	尾西消防署
	21・22日	第1回甲種防火管理新規講習	いちのみや中央プラザ
	27・28日	第2回甲種防火管理新規講習	いちのみや中央プラザ
10月	2日	第13回愛知県尾張地区消防大会	名古屋文理大学文化フォーラム
	8日	3消防本部合同火災予防啓発イベント	ナゴヤハウジングセンター一宮会場
	19日～ 11月27日	児童防火作品入賞作品展示	木曾川庁舎、中央図書館、尾西図書館
	22日	消防本部安全衛生委員会下半期	消防本部
	29日	大和町連区防災訓練	末広小学校
	30日	小信中島連区防災訓練	小信中島小学校
	30日	千秋町連区防災訓練	千秋中学校
	30日	朝日連区防災訓練	朝日西小学校

(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

令和4年			
月	日	行事名	実施場所
11月	6日	一宮市消防団観閲式	尾西河川敷グラウンド
	6日	今伊勢町連区防災訓練	今伊勢公民館
	6日	開明連区防災訓練	開明公民館・尾西運動場
	8日	令和4年秋季火災予防運動消防訓練	スーパービバホーム一宮店
	9日	警察等合同危険物車両路上立入検査	毛受地内主要地方道岐阜稲沢線
	12・13日	第6回緊急消防援助隊全国合同訓練	富士山静岡空港西側県有地ほか
	13日	三条連区防災訓練	三条小学校
	13日	萩原町連区防災訓練	萩原公民館
	13日	神山連区防災訓練	神山小学校
	20日	第44回一宮市消防音楽隊定期演奏会	一宮市民会館
	20日	木曾川町連区防災訓練	黒田小学校
27日	起連区防災訓練	起小学校	
12月	12日	年末特別査察	スーパービバホーム一宮店
	13日	年末特別査察	パロー一宮西ショッピングセンター、一宮ニッケ・コーナンプラザ、ピアゴパワー妙興寺店、ピアゴ尾西店、名鉄百貨店一宮店
	14日	年末特別査察	エディオン一宮本店、テラスウォーク一宮、イオンモール木曾川
	15日	年末特別査察	MEGAドン・キホーテUNY一宮大和店
	16日	年末特別査察	アピタパワー木曾川店
	16・17日	尾三消防本部との土砂災害対応合同訓練	尾三消防本部訓練場
	29・30日	消防団年末特別警戒	各分団庁舎
令和5年			
1月	29日	貴船連区防災訓練	貴船公民館
2月	21・22日	警防技術大隊訓練	尾西消防署
	22日	甲種防火管理再講習会	いちのみや中央プラザ
	23日	春の火災予防PRイベント	イオンモール木曾川
3月	2日	一宮市婦人消防クラブ防火パトロール	テラスウォーク一宮、宮西連区

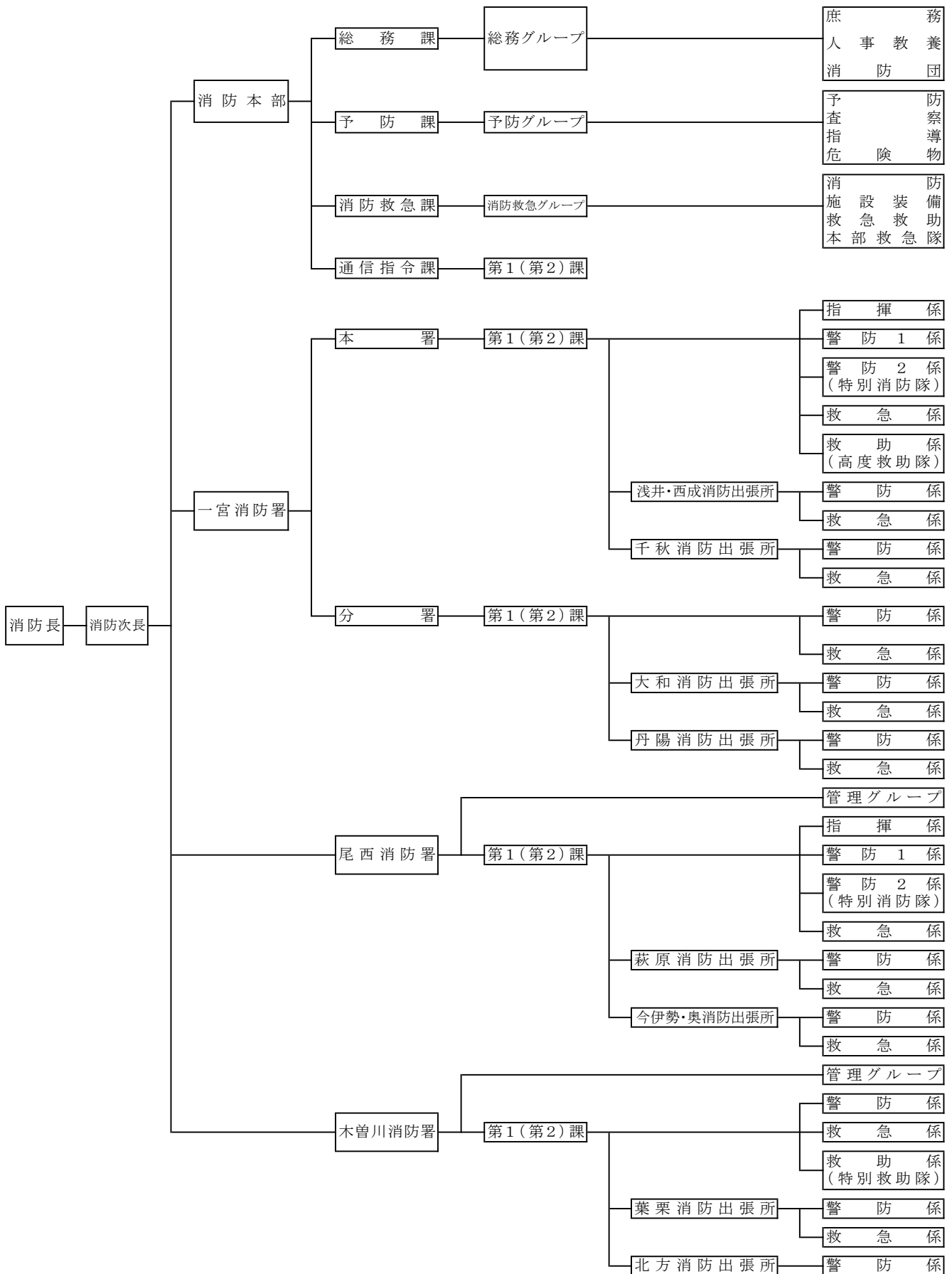
消防情勢の推移

	年別	市 勢		(消(防千 年予円 算)	職員(実員)		水利(公設のみ)		
		人 口	世 帯		消 防 吏 員	そ の 他	消 火 栓	防 火 井 戸	防 火 水 槽
旧一宮市	平成13年	279,115	91,796	2,635,074	256	1	2,746	378	273
	平成14年	280,778	94,064	2,730,724	269	1	2,794	374	274
	平成15年	281,772	95,888	3,536,546	265	1	2,854	373	276
	平成16年	283,079	98,013	2,555,423	265	1	2,895	370	278
旧尾西市	平成13年	58,963	19,049	716,541	65	2	574	184	23
	平成14年	58,932	19,264	587,803	63	3	581	185	23
	平成15年	58,901	19,518	719,320	63	3	604	227	23
	平成16年	59,006	19,894	580,935	63	2	618	227	23
旧木曾川町	平成13年	31,576	10,440	435,446	38	1	223	26	75
	平成14年	31,848	10,666	410,040	40	1	224	26	75
	平成15年	32,065	10,834	535,346	42	1	224	26	75
	平成16年	32,340	11,052	403,905	44	1	224	26	75
一宮市	平成17年	377,216	133,401	3,642,931	364	3	3,784	621	373
	平成18年	378,725	135,786	3,453,484	367	2	3,818	619	377
	平成19年	381,036	138,435	3,552,094	369	1	3,841	615	377
	平成20年	383,308	141,180	3,532,269	368	1	3,868	613	377
	平成21年	384,706	143,259	3,420,599	368	1	3,886	612	377
	平成22年	385,772	144,838	3,449,748	374	1	3,910	611	377
	平成23年	386,132	146,178	3,566,530	383	1	3,946	611	377
	平成24年	386,390	147,585	3,608,915	388	1	3,960	608	377
	平成25年	386,447	148,759	3,496,663	388		3,978	607	377
	平成26年	386,429	150,754	3,453,097	386	1	3,980	606	377
	平成27年	386,410	152,651	4,650,533	382	1	3,988	605	375
	平成28年	386,094	154,692	3,934,001	389		4,005	603	375
	平成29年	386,105	156,693	3,716,700	389		4,017	603	375
	平成30年	385,777	158,534	4,263,243	390		4,023	603	375
	令和元年	385,160	160,426	4,049,916	396		4,032	603	375
	令和2年	384,790	162,551	4,080,905	400		4,040	603	376
令和3年	383,582	164,198	3,979,486	401		4,053	602	381	
令和4年	381,366	164,965	4,104,305	404		4,066	602	383	
令和5年	379,538	166,564	4,052,283	398		4,076	602	384	

(備考) 各年4月1日の数値
令和3年から40㎡未満の防火水槽を水利数に計上

	年別	火 災				救 急		救 助		消 防 団	
		火災件数	損害額 (千円)	死者	負傷者	出動件数	搬送人員	出動件数	救助人員	消防団数	団員数 (実員)
旧一宮市	平成13年	171	219,923	1	14	8,058	8,186	144	64	1	315
	平成14年	152	300,597	5	6	8,308	8,375	127	59	1	316
	平成15年	145	369,009	1	10	9,055	9,009	152	66	1	316
	平成16年	154	219,349	2	24	9,721	9,708	167	65	1	319
旧尾西市	平成13年	21	20,788		4	1,397	1,432	12	14	1	154
	平成14年	37	69,740	3	5	1,452	1,486	20	17	1	153
	平成15年	30	28,574		3	1,662	1,678	15	18	1	151
	平成16年	38	15,981		4	1,807	1,815	28	11	1	152
旧木曾川町	平成13年	20	95,841		2	747	755	10	6	1	122
	平成14年	17	31,124	1	3	864	861	5	8	1	123
	平成15年	10	44,743		1	856	855	5	3	1	118
	平成16年	12	20,938			1,000	1,006	7	4	1	117
一宮市	平成17年	160	284,098	7	9	13,600	13,407	156	63	3	582
	平成18年	169	823,324	5	35	13,622	13,346	171	78	3	587
	平成19年	199	496,587	9	19	13,784	13,444	213	83	3	583
	平成20年	164	120,129	10	15	13,478	12,935	183	103	1	580
	平成21年	162	166,070	5	27	14,007	13,403	203	99	1	562
	平成22年	131	121,566	8	20	14,786	14,078	195	76	1	543
	平成23年	131	162,609	7	15	15,692	14,887	214	90	1	540
	平成24年	101	116,025	2	20	15,400	14,574	163	67	1	526
	平成25年	87	201,673	3	6	15,674	14,874	193	86	1	500
	平成26年	104	248,407	5	13	15,592	14,629	196	77	1	502
	平成27年	83	87,236	5	9	16,167	15,257	190	86	1	510
	平成28年	99	55,087	3	16	16,882	15,923	210	113	1	516
	平成29年	80	96,788	2	13	17,381	16,416	229	119	1	516
	平成30年	68	365,878	4	10	18,274	17,262	241	109	1	526
	令和元年	59	196,002	1	8	18,626	17,716	234	112	1	531
	令和2年	57	792,224	2	8	16,361	15,513	178	100	1	527
令和3年	81	190,252	3	15	17,136	16,257	236	130	1	510	
令和4年	61	169,309	5	18	19,483	18,396	243	105	1	503	
令和5年	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	493

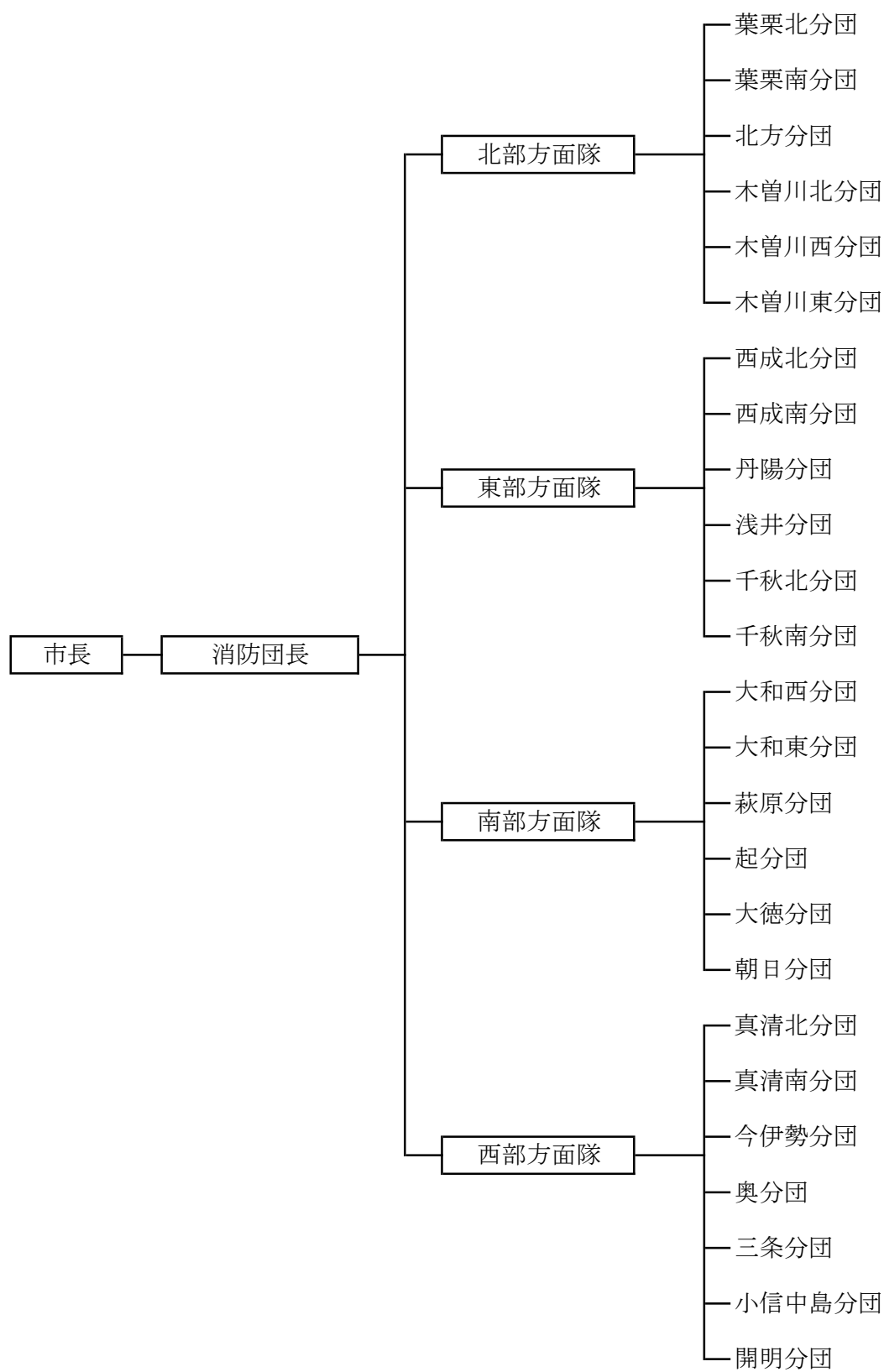
消防本部・消防署の組織



消防本部・消防署の事務分掌

消 防 本 部	
総 務 課	<ul style="list-style-type: none"> ○予算の執行及び経理、文書の管理、統計、消防総合計画の企画調整 ○職員の人事及び教養、安全管理及び衛生管理、表彰、音楽隊、消防職員委員会、福利厚生、広報 ○消防団、水防、儀式
予 防 課	<ul style="list-style-type: none"> ○火災予防対策の企画調整、火災の調査及び火災調査技術の研究指導 ○防火管理、査察基準の策定及び査察技術の指導、火災予防査察、防火対象物の定期点検制度及び自主点検制度 ○建築確認及び許可の同意、建築物等の防火及び防災、消防用設備等の設置の指導及び検査 ○危険物の規制及び指導、危険物製造所等の許認可及び検査、危険物取扱者及び危険物保安監督者の育成指導、少量危険物及び指定可燃物等の規制、液化石油ガス等の保安、防火対象物の違反処理
消 防 救 急 課	<ul style="list-style-type: none"> ○消防署の予算編成、消防署の企画調整、災害の警戒及び防御、消防活動の基準、研究及び対策、消防署員の教育及び訓練 ○消防相互応援、施設、水利、車両及び装備の整備、消防計画 ○救急及び救助の統計、救急の普及及び応急手当、指導
通 信 指 令 課	<ul style="list-style-type: none"> ○災害受信、消防部隊の統制運用、消防通信の運用、消防防災に係る情報収集及び伝達、無線局の管理、無線従事者の選任及び解任、庁内情報システムの運用
消 防 署	
管理グループ (尾西消防署) (木曽川消防署)	<ul style="list-style-type: none"> ○火災予防条例等の届出、防火管理、火災予防査察、火災の調査、消防団、所管施設及び車両の修繕
指 揮 係 警 防 1・2 係	<ul style="list-style-type: none"> ○災害の警戒及び防御、警防計画及び訓練、地理及び水利の調査研究、火災予防査察、火災の調査、自主防災会、消防署の庶務、火災予防条例等の届出
救 急 係 救 助 係	<ul style="list-style-type: none"> ○救急及び救助並びに災害の警戒及び防御、火災予防査察、救助の統計、消防署の設備の管理

消防団の組織



消防本部・消防署の庁舎現況

令和5年4月1日現在

名 称	所 在 地	構 造	延床面積(㎡)	敷地面積(㎡)	建築年月
消 防 本 部 一 宮 消 防 署 本 署	緑 1 丁 目 1 番 10 号	鉄筋コンクリート造3階建	2,667.00	3,419.99	S43.3
消 防 本 部 西 車 庫	緑 1 丁 目 1 番 10 号	鉄 骨 造 平 家 建	191.19	上記に併設	S59.3
消 防 本 部 南 車 庫	緑 1 丁 目 1 番 10 号	鉄 骨 造 平 家 建	134.70	上記に併設	H14.11
浅井・西成消防出張所	浅井町東浅井字新開前27番地	鉄 骨 造 2 階 建	572.45	2,730.42	H29.3
千 秋 消 防 出 張 所	千 秋 町 佐 野 字 加 村 1 番 地 1	鉄筋コンクリート造2階建 車庫・鉄骨造折板葺	359.07	1,323.00	H10.11
消 防 署 整 備 工 場 (防 災 備 蓄 倉 庫 併 設)	千 秋 町 佐 野 字 加 村 1 番 地 1	鉄 骨 造 平 家 建	147.51 (83.44)	上記に併設	H10.11
八 幡 消 防 分 署	八 幡 4 丁 目 1 番 12 号	鉄筋コンクリート造2階建	498.81	751.28	H20.9
大 和 消 防 出 張 所	大和町苅安賀字上東出37番地	鉄筋コンクリート造平家建 車庫・鉄骨造折板葺	347.68	1,421.67	S54.12
丹 陽 消 防 出 張 所	多 加 木 4 丁 目 30 番 13 号	鉄 骨 造 2 階 建	384.84	1,071.08	H21.3
尾 西 消 防 署	西 五 城 字 中 切 浦 13 番 地 1	鉄筋コンクリート造3階建	2,290.05	6,580.70	H1.11
尾 西 消 防 署 倉 庫	西 五 城 字 中 切 浦 13 番 地 1	鉄 骨 造 平 家 建	72.78	上記に併設	H1.10
萩 原 消 防 出 張 所	萩 原 町 串 作 字 水 絶 15 番 地	鉄 骨 造 2 階 建	485.74	1,105.45	H23.3
今 伊 勢 ・ 奥 消 防 出 張 所	今 伊 勢 町 馬 寄 字 東 瀬 古 22 番 地 1	鉄 骨 造 2 階 建	526.69	1,852.59	H25.3
木 曾 川 消 防 署	木 曾 川 町 黒 田 字 北 宿 二 の 切 247 番 地 1	鉄筋コンクリート造2階建	1,409.48	5,271.87	S53.3
葉 栗 消 防 出 張 所	大 毛 字 御 申 塚 19 番 地	鉄筋コンクリート造2階建 車庫・鉄骨造折板葺	356.45	1,089.00	S62.3
葉 栗 消 防 出 張 所 倉 庫	大 毛 字 御 申 塚 19 番 地	鉄 骨 造 平 家 建	51.84	上記に併設	S62.3
北 方 消 防 出 張 所	北 方 町 北 方 字 西 金 丸 60 番 地	鉄筋コンクリート造2階建 車庫・鉄骨造折板葺	408.39	1,125.30	H3.3
緑 消 防 倉 庫	緑 1 丁 目 4 番 2 号	鉄 骨 造 2 階 建	333.30	315.04	H8.2

※()内の面積は外数で記載

消防団の庁舎現況

	名 称	所 在 地	構 造	延床面積 (㎡)	敷地面積 (㎡)	建築年月
北 部 方 面 隊	葉栗北分団	光明寺字山屋敷23番地5	鉄骨造平家建	67.82	238.73	H15.12
	葉栗南分団	島村字下老光寺30番地	鉄骨造平家建	69.60	621.61	H20.3
	北方分団	北方町北方字中屋敷郷263番地	鉄骨造平家建	60.35	519.61	H5.1
	木曾川北分団	木曾川町黒田字松山東72番地	鉄筋コンクリート造 2階建	126.00	188.00	H2.3
	木曾川西分団	木曾川町玉ノ井字穴太部5番地	鉄筋コンクリート造 2階建	99.00	203.14	H14.3
	木曾川東分団	木曾川町黒田八ノ通り139番地1	鉄筋コンクリート造 2階建	138.23	556.14	H13.3
東 部 方 面 隊	西成北分団	西大海道字本郷85番地10	鉄骨造平家建	60.35	300.49	H6.3
	西成南分団	大赤見字鷺目4番地1	鉄骨造2階建	97.94	252.00	H19.3
	丹陽分団	平島3丁目6番9号	鉄骨造平家建	63.90	376.08	H13.12
	浅井分団	浅井町前野字郷西43番地1	鉄骨造平家建	105.00	380.00	H4.2
	千秋北分団	千秋町加納馬場字高須56番地1	鉄骨造2階建	97.94	147.61	H21.3
	千秋南分団	千秋町小山字城41番地1	鉄骨造平家建	68.90	624.01	H18.2

令和5年4月1日現在

	名 称	所 在 地	構 造	延床面積 (㎡)	敷地面積 (㎡)	建築年月
南部 方面隊	大和西分団	大和町荻安賀字火口上1665番地	鉄骨造2階建	97.94	149.75	H14.12
	大和東分団	大和町妙興寺字高畑14番地1	鉄骨造平家建	56.00	221.86	H3.3
	萩原分団	萩原町河田方字西狭間7番地3	鉄骨造平家建	68.90	495.00	H17.2
	起分団	起字西茜屋27番地2	鉄骨造平家建	72.90	628.10	H25.12
	大徳分団	西五城字飛石北31番地1	鉄骨造平家建	97.20	611.00	H16.3
	朝日分団	明地字西阿古井80番地	鉄骨造平家建	72.90	490.86	H24.3
西部 方面隊	真清北分団	桜3丁目11番10号	鉄骨造平家建	50.60	352.12	S62.3
	真清南分団	大志2丁目7番9号	鉄骨造2階建	54.88	85.96	S58.3
	今伊勢分団	今伊勢町馬寄字吉田浦56番地1	鉄骨造平家建	60.35	593.00	H12.12
	奥分団	奥町字下口西23番地1	鉄骨造平家建	70.68	876.03	H22.2
	三条分団	三条字郷南西37番地1	鉄骨造平家建	72.90	381.95	H22.11
	小信中島分団	小信中島字中平10番地	鉄骨造2階建	116.36	281.64	H31.2
	開明分団	開明字杵西郭69番地1	鉄骨造平家建	97.20	736.12	H15.12

消防本部・消防署車両の現勢

令和5年4月1日現在

区分	名称	摘要	登録番号	車名 型式	購入 年度	経過 年数	ポンプ		
							級別	メーカー	
消防本部・一宮消防署本署	本部指令車		一宮800さ1379	トヨタ DBA-ZRR85G	H26	8			
	本署指令車		一宮800さ2297	トヨタ 5BF-S403M	R2	2			
	本署指揮車		一宮800さ1851	トヨタ CBF-TRH226S	H29	5			
	本署1号車	水槽付消防ポンプ自動車	一宮800は244	日野 2KG-GX2ABA	R2	2	A2	モリタ	
	本署2号車	水槽付消防ポンプ自動車	一宮800は274	日野 2KG-GX2ABA	R3	1	A2	モリタ	
	一宮1号車	水槽付消防ポンプ自動車	一宮800は27	日野 BDG-GD7JGWA改	H19	15	A2	長野ポンプ	
	本署はしご車	30m先端屈折はしご付消防自動車	一宮830す2018	日野 2DG-FR1AJA	H30	4			
	本署救助工作車	3tクレーン装備	一宮800は21	日野 ADG-GX7JGWA改	H17	17			
	救助資機材搬送車	パワーゲートアルミボディ	一宮800さ2283	日野 2KG-XZU775M	R2	2			
	本署救急1号車	高規格救急自動車	一宮830た138	トヨタ CBF-TRH226S	R1	3			
	一宮救急1号車	高規格救急自動車	一宮830さ263	トヨタ CBF-TRH226S	H25	9			
	本署広報1号車		一宮800さ2611	ニッサン 3DF-CN8E26	R4				
	本署広報2号車		一宮800さ2578	ニッサン 3BA-KS6E26	R4				
	本署広報3号車		一宮480う8094	ダイハツ 3BD-S700V	R4				
	本署広報4号車		一宮480う1560	ダイハツ EBD-S321V	H30	4			
	本署広報5号車		一宮800さ401	ニッサン UA-NE51	H15	19			
	本署広報6号車		一宮800さ186	ニッサン CBA-NT30	H18	16			
	本署広報7号車		一宮500に7589	トヨタ 3BA-ZRR80G	R3	1			
	本署広報8号車		一宮100さ286	トヨタ GE-RZH183K	H14	20			
	本署広報9号車		一宮500そ6867	ホンダ DBA-GB3	H22	12			
	本署広報10号車		一宮800さ164	トヨタ UA-NCP59G	H14	20			
	搬送3号車	パワーゲート幌	一宮800さ335	いすゞ PB-NKS81AR	H17	17			
	支援車	20人乗りマイクロバス	一宮800さ1684	ニッサン ABG-DHW41	H28	6			
出張所	浅井・西成	浅井・西成1号車	水槽付消防ポンプ自動車	一宮800は52	日野 SDG-GD7JGAA改	H23	11	A2	モリタ
		浅井・西成2号車	消防ポンプ自動車	一宮800さ985	日野 SKG-XZU640M	H23	11	A2	モリタ
		浅井・西成救急1号車	高規格救急自動車	一宮830さ1812	トヨタ CBF-TRH226S	H30	4		
	千秋	千秋1号車	水槽付消防ポンプ自動車	一宮800は304	日野 2KG-GX2ABA	R4		A2	モリタ
		千秋2号車	消防ポンプ自動車	一宮800さ1986	日野 TPG-XZU640M	H30	4	A2	日本機械
	千秋救急1号車	高規格救急自動車	一宮830さ2012	トヨタ 3BF-TRH226S	R2	2			

区分	名称	摘要	登録番号	車名 型式	購入 年度	経過 年数	ポンプ		
							級別	メーカー	
八幡消防分署	分署指令車		一宮 800 さ 708	ニッサン DBA-NT31	H21	13			
	分署1号車	水槽付消防 ポンプ自動車	一宮 800 は 66	日野 SDG-GD7JGAA改	H24	10	A2	モリタ	
	分署救急1号車	高規格救急自動車	一宮 830 さ 2721	トヨタ CBF-TRH226S	H26	8			
	分署広報1号車		一宮 480 う 3037	スズキ HBD-DA17V	R1	3			
	搬送2号車	幌	一宮 800 さ 330	マツダ PB-LKS81AR	H17	17			
出張所	大和	大和1号車	水槽付消防 ポンプ自動車	一宮 800 は 30	日野 BDG-GD7JGWA改	H20	14	A2	長野ポンプ
		大和救急1号車	高規格救急自動車	一宮 830 さ 2822	トヨタ CBF-TRH226S	H27	7		
	丹陽	丹陽1号車	水槽付消防 ポンプ自動車	一宮 800 は 45	日野 BDG-GD7JGWA改	H22	12	A2	モリタ
		丹陽救急1号車	高規格救急自動車	一宮 830 さ 293	トヨタ CBF-TRH226S	H28	6		
尾西消防署	尾西指令車		一宮 800 さ 291	ニッサン CBA-MNE51	H17	17			
	尾西指揮車		一宮 800 さ 1553	トヨタ CBF-TRH226S	H27	7			
	尾西1号車	化学消防ポンプ自動車 (水 1,500ℓ、薬液 500ℓ)	一宮 800 は 245	日野 2KG-GX2ABA	R2	2	A2	モリタ	
	尾西2号車	水槽付消防 ポンプ自動車	一宮 800 は 147	いすゞ SKG-FSR90S2	H28	6	A2	長野ポンプ	
	一宮3号車	水槽付消防 ポンプ自動車	一宮 800 は 25	日野 ADG-GX7JGWA改	H17	17	A2	長野ポンプ	
	尾西はしご車	30m先端屈折はし ご付消防自動車	一宮 830 す 2019	日野 2DG-FR1AJA	R1	3			
	尾西救急1号車	高規格救急自動車	一宮 830 さ 2821	トヨタ CBF-TRH226S	H27	7			
	一宮救急3号車	高規格救急自動車	一宮 800 さ 973	ニッサン CBF-FPWGE50改	H23	11			
	尾西広報1号車		一宮 800 さ 2548	トヨタ 5BF-S403M	R4				
	尾西広報2号車		一宮 400 す 5821	トヨタ 5BF-S403M	R4				
	尾西広報3号車		一宮 480 う 3036	スズキ HBD-DA17V	R1	3			
	尾西広報4号車		一宮 800 さ 507	トヨタ GC-KR42V	H12	21			
	搬送1号車		一宮 800 さ 345	マツダ PB-LKS81AR	H17	17			
	出張所	萩原	萩原1号車	水槽付消防 ポンプ自動車	一宮 800 は 32	日野 BDG-GD7JGWA改	H21	13	A2
萩原2号車			消防ポンプ自動車	一宮 800 さ 2136	日野 2RG-XZU640M	R1	3	A2	日本機械
萩原救急1号車			高規格救急自動車	一宮 830 さ 2722	トヨタ CBF-TRH226S	H26	8		
今伊勢・奥		今伊勢・奥1号車	水槽付消防 ポンプ自動車	一宮 800 は 77	日野 SDG-GD7JGAA改	H25	9	A2	モリタ
		今伊勢・奥2号車	消防ポンプ自動車	一宮 800 さ 724	日野 BDG-XZU334M	H21	13	A2	モリタ
		今伊勢・奥救急1号車	高規格救急自動車	一宮 830 さ 2112	トヨタ 3BF-TRH226S	R3	1		

区分	名称	摘要	登録番号	車名 型式	購入 年度	経過 年数	ポンプ		
							級別	メーカー	
木曾川消防署	木曾川 指令車		一宮 800 さ 529	トヨタ GF-RZJ95W	H14	20			
	木曾川 1号車	水槽付消防 ポンプ自動車	一宮 800 は 65	日野 SDG-GD7JGAA改	H24	10	A2	モリタ	
	一宮2号車	水槽付消防 ポンプ自動車	一宮 800 は 10	日野 ADG-GD7JGWA改	H18	16	A2	長野ポンプ	
	木曾川 救助工作車	3tクレーン装備	一宮 800 は 9	日野 ADG-GD7JGWA改	H18	16			
	木曾川 救急1号車	高規格救急自動車	一宮 830 せ 301	トヨタ CBF-TRH226S	H29	5			
	一宮 救急2号車	高規格救急自動車	一宮 830 さ 252	ニッサン CBF-FPWGE50改	H24	10			
	木曾川 広報1号車		一宮 480 い 9920	スズキ HBD-DA17V	H29	5			
	木曾川 広報2号車		一宮 800 さ 424	トヨタ CBA-NCP59G	H17	17			
	搬送4号車	3tクレーン装備	一宮 800 さ 393	日野 ADG-FD7JLWA	H17	17			
出張所	葉栗	葉栗1号車	水槽付消防 ポンプ自動車	一宮 800 は 175	日野 2KG-GX2ABA	H29	5	A2	モリタ
		葉栗 救急1号車	高規格救急自動車	一宮 830 さ 2302	トヨタ 3BF-TRH226S	R4			
	北方	北方1号車	水槽付消防 ポンプ自動車	一宮 800 は 302	日野 2KG-GX2ABA	R4		A2	モリタ

総数69台(消防本部・一宮消防署38台、尾西消防署19台、木曾川消防署12台)

タンク車	16台(非常用3台含む)	救助工作車	2台
ポンプ車	4台	化学車	1台
救急車	14台(非常用3台含む)	その他	30台
はしご車	2台		

消防団車両の現勢

令和5年4月1日現在

区分	名称	摘要	登録番号	車名 型式	購入 年度	経過		ポンプ	
						年数	級別	メーカー	
北部方面隊	葉栗北分団	葉栗北分団車	積載車	一宮830す119	ニッサン TC-SH4F23	H18	16	B2	トーハツ
	葉栗南分団	葉栗南分団車	積載車	一宮830り119	トヨタ 3BF-TRY230	R4		B2	シバウラ
	北方分団	北方分団車	ポンプ車	一宮830の119	いすゞ BKG-NMR85N	H22	12	A2	日本機械
	木曽川北分団	木曽川北分団車	積載車	一宮830ひ119	ニッサン CBF-SQ2F24	H23	11	B2	トーハツ
	木曽川西分団	木曽川西分団車	積載車	一宮830は119	ニッサン CBF-SQ2F24	H23	11	B2	トーハツ
	木曽川東分団	木曽川東分団車	ポンプ車	一宮830ね119	日野 BDG-XZU304E	H21	13	A2	モリタ
東部方面隊	西成北分団	西成北分団車	積載車	一宮830せ119	ニッサン TC-SH4F23	H18	16	B2	トーハツ
	西成南分団	西成南分団車	積載車	一宮830も119	トヨタ 3BF-TRY230	R4		B2	シバウラ
	丹陽分団	丹陽分団車	積載車	一宮830ら119	トヨタ 3BF-TRY230	R4		B2	シバウラ
	浅井分団	浅井分団車	積載車	一宮830さ119	ニッサン TC-SH4F23	H18	16	B2	トーハツ
	千秋北分団	千秋北分団車	積載車	一宮830ち119	ニッサン TC-SH4F23	H19	15	B2	トーハツ
	千秋南分団	千秋南分団車	積載車	一宮830み119	ニッサン CBF-SQ2F24	R1	3	B2	シバウラ
南部方面隊	大和西分団	大和西分団車	積載車	一宮800さ406	ニッサン TC-SH4F23	H17	17	B2	トーハツ
	大和東分団	大和東分団車	ポンプ車	一宮830ぬ119	日野 BDG-XZU304E	H21	13	A2	小川ポンプ
	萩原分団	萩原分団車	積載車	一宮830や119	トヨタ 3BF-TRY230	R4		B2	シバウラ
	起分団	起分団車	積載車	一宮830て119	ニッサン CBF-SQ2F24	H20	14	B2	トーハツ
	大徳分団	大徳分団車	ポンプ車	一宮830に119	日野 BDG-XZU304E	H21	13	A2	小川ポンプ
	朝日分団	朝日分団車	積載車	一宮830ふ119	ニッサン CBF-SQ2F24	H24	10	B2	トーハツ
西部方面隊	真清北分団	真清北分団車	積載車	一宮830た119	ニッサン TC-SH4F23	H19	15	B2	トーハツ
	真清南分団	真清南分団車	積載車	一宮830め119	ニッサン CBF-SQ2F24	R3	1	B2	シバウラ
	今伊勢分団	今伊勢分団車	積載車	一宮800さ407	ニッサン TC-SH4F23	H17	17	B2	トーハツ
	奥分団	奥分団車	積載車	一宮830ゆ119	トヨタ 3BF-TRY230	R4		B2	シバウラ
	三条分団	三条分団車	ポンプ車	一宮830と119	日野 BDG-XZU304E	H20	14	A2	GMいちばら
	小信中島分団	小信中島分団車	積載車	一宮830な119	ニッサン CBF-SQ2F24	H21	13	B2	トーハツ
	開明分団	開明分団車	ポンプ車	一宮830ほ119	日野 TKG-XZU640M	H26	8	A2	長野ポンプ

総数 25台 (ポンプ車 6台、積載車 19台)

消防音楽隊のあゆみ

明治28年、一宮銀行頭取の佐分慎一郎氏が、外国から楽器を取り寄せ、銀行員を音楽隊員に任命し「一宮音楽会」が誕生しました。その頃は、日清戦争のさなかで隊員の服装も軍国調でした。演奏活動は、一宮駅等において出兵兵士の歓送迎や宮田用水通水式記念演奏などを行いました。

明治37年には、「一宮軍楽会」に改称しました。当時、音楽隊は大変珍しい存在でしたので、名古屋第三師団の招魂祭をはじめ、豊橋・四日市・静岡・箱根など各地から演奏依頼が殺到しました。しかし、押し寄せる戦争の波には勝てず演奏活動を続けることができなくなり楽器を第四尋常小学校（現在の大志小学校）へ保管していました。

その後、一宮第一青年団が音楽隊を再結成し、昭和9年には消防組がこれを受け継ぎ、全国初の消防音楽隊が誕生しました。大森喜代三郎氏を中心として音楽隊員を増員し、先代の軍楽会同様、各方面から好評を博し、演奏活動も軌道に乗りました。しかし、太平洋戦争の激化により、またも演奏活動を中止せざるをえなくなりました。

空襲により、市内の大部分が消失しましたが、楽器は市役所の望楼に保管したので、すべて無事でした。楽器が生き残ったおかげで、隊員こそ少人数になりましたが、再び練習が開始されました。焦土と化した中から、疲弊した市民を励ますように希望のメロディーが流れはじめました。苦難の時代も音楽活動を続け、消防音楽隊として定着してきました。

昭和36年に消防音楽隊は、一宮商工会議所管弦楽団と合併し、一宮吹奏楽団となりました。本格的な吹奏楽団としてオレンジ色の帽子、上着、クリーム色のズボン身をまとい、華やかな彩りと高度な技量を市民に披露しました。そして、昭和37年には演奏効果をより充実するため、楽器の編成に一部弦楽器を加え、名称を「一宮市音楽隊」に改称しました。昭和51年に一宮市音楽隊設置規則を制定、昭和62年には、「一宮市消防音楽隊」に改称しました。

現在は隊員36名が、市の行事はもちろん小中学校演奏会、各種イベント、パレード等、年間約25回の演奏活動を幅広く実施しています。

昭和55年から毎年市民会館で開催している定期演奏会では、ゲストに著名な歌手や指揮者を招いて一年間の練習の成果を発表しており、芸術の秋の一大イベントになっています。平成3年中には、一宮市制70周年記念事業に多数参加しイベントに花をそえました。

そして、平成5年は国民体育大会ソフトテニス競技会リハーサル大会の式典演奏を、平成6年には、第49回国民体育大会ソフトテニス競技会の式典演奏等を担当するなど、大会の運営に貢献するとともに、音楽隊誕生100周年を迎えました。この記念演奏会を7月と11月に2回開催し、多くの市民から好評を博しました。平成13年から、学校演奏会30周年を記念して第1回中学生と消防音楽隊のふれあいコンサートを開催し、情操教育の一環として演奏技術の向上を目的に毎年演奏活動を実施しています。

<年表>

- 明治28年 一宮銀行佐分頭取を理事長として一宮音楽会が発足、日清戦争出兵兵士の歓送演奏
- 明治32年 宮田用水通水記念演奏
- 明治37年 一宮軍楽会と改称
- 昭和 2年 一宮第一青年団音楽隊と改称し、大森喜代三郎氏が隊長兼指揮者として就任
- 昭和 9年 青年団音楽隊から一宮消防組音楽隊に改め隊員も消防組員を主体として全国初の消防音楽隊が発足
- 昭和19年 太平洋戦争の激化により活動を停止
- 昭和21年 隊員25名で消防音楽隊を再編成
- 昭和36年 消防音楽隊は一宮商工会議所管弦楽団と合併し、一宮吹奏楽団としてスタート
- 昭和37年 一宮市音楽隊と改称し市営となる
- 昭和38年 創立3周年記念音楽会を開催
- 昭和43年 NHK土曜コンサートで全国放送
- 昭和44年 名古屋まつり市中パレードに出演
- 昭和46年 一宮市繊維団地完成祝典演奏
- 昭和47年 プロ野球オープン戦入場式及び演奏会、ドリル演奏を実施
- 昭和51年 一宮市音楽隊設置規則制定
一宮ライオンズクラブ結成20周年記念式典演奏
愛知県消防大会で記念演奏
- 昭和53年 一宮市民憲章制定発表会で記念演奏
一宮市スポーツ文化センター完成式で記念演奏
ロータリークラブ国際年次大会で記念演奏
- 昭和54年 日中友好国際ソフトボール大会の入場式及び演奏会
- 昭和55年 一宮市音楽隊20周年記念演奏会を開催
- 昭和62年 一宮市音楽隊を一宮市消防音楽隊と改称し、隊長の大森喜代三郎氏は名誉隊長に、隊長には消防長がそれぞれ就任
- 平成元年 世界デザイン博覧会のJTミュージックラン、一宮フェスティバルに出演
- 平成 2年 「イーストマン・ウインド・アンサンブル」指揮者ドナルド・ハンスバーガー氏に指導を受ける
- 平成 3年 一宮市制70周年記念事業に多数参加
- 平成 4年 指揮者としてチェコスロバキア出身アントニン・キューネル氏を迎える
- 平成 5年 国民体育大会ソフトテニス競技会リハーサル大会の開会式、表彰式、閉会式の演奏を担当
- 平成 6年 第49回国民体育大会ソフトテニス競技会の開始式、表彰式、閉会式の演奏を担当
7月と11月に音楽隊誕生100周年記念演奏会を開催
- 平成 7年 第17回定期演奏会で交響詩「阪神大震災」(アントニン・キューネル作曲)を初演
- 平成 9年 第19回定期演奏会で新調したユニフォームを初披露

- 平成10年 第10回定期演奏会に名古屋市消防音楽隊(カラーガード隊リリーエンゼルス)が友情出演
- 平成13年 学校演奏会30周年を記念し、第1回中学生と消防音楽隊のふれあいコンサートを開催
一宮市制80周年記念として、第23回定期演奏会に神崎愛氏をゲストとして迎える
- 平成16年 第26回定期演奏会で「しょうぼうじどうしゃじふた」を題材に子供たちの演劇を演奏
- 平成20年 第30回定期演奏会で「カルメン」をテーマにゲストによる歌と踊り、そして音楽隊とのコラボレーションを披露
- 平成21年 第31回定期演奏会で市民参加による吹奏楽と合唱のコラボレーション、合唱構成「ぞうれっしやがやってきた」を披露
- 平成22年 第32回定期演奏会で「スポーツと音楽」をテーマにスポーツ&音楽ライターの玉木正之氏と元フィギュアスケート選手の中野友加里氏をゲストに迎える
- 平成23年 第33回定期演奏会で「世界を旅する」をテーマに野村哲也氏(写真家)、八木澤教司氏(作曲家)、大石邦彦氏(CBCアナウンサー)をゲストに迎える
- 平成24年 第34回定期演奏会で「ミュージカル」をテーマに新妻聖子氏(ミュージカル女優)をゲストに迎える
- 平成25年 第35回定期演奏会で「世界の中の日本」をテーマに山口晃司氏(津軽三味線奏者)、白井奈津氏(ラジオDJ)をゲストに迎える
- 平成26年 第36回定期演奏会で桂米團治氏(落語家)をゲストに迎え、桂氏の語りと音楽隊の演奏のコラボレーションによるバレエ音楽「白鳥の湖」を披露
- 平成27年 第60回七夕まつりを記念して東京ディズニーリゾート・スペシャルパレードにマーチングバンドとして出演
第37回定期演奏会で神野三枝氏(ラジオパーソナリティー)をゲストに迎え、神野氏の多彩なトークと音楽隊とのコラボレーションにより幅広い年代層に愛されている「映画音楽」を披露
- 平成28年 第38回定期演奏会で青島広志氏(作曲家)をゲストに迎え、日本の吹奏楽にスポットをあて、吹奏楽オリジナル作品を披露
- 平成29年 第39回定期演奏会で石川直氏(ルーディメンタルドラマー)をゲストに迎え、打楽器にスポットをあて、打楽器の躍動感やリズムを様々な音楽に乗せて披露
- 平成30年 第40回定期演奏会で林望氏(作家)と矢野きよ実氏(パーソナリティー・書家)をゲストに迎え、イギリス諸国を代表する作曲家の作品を中心に、音楽を時代考証しながら披露
- 令和元年 第41回定期演奏会で立浪一義氏(中日ドラゴンズOB)をゲストに迎え、高校野球の応援歌を中心に演奏を披露
- 令和 2年 第42回定期演奏会で石丸幹二氏(俳優)をゲストに迎え、「ミュージカルの世界」をテーマに演奏を披露
- 令和 3年 第43回定期演奏会で浅田舞氏(プロフィギュアスケーター)をゲストに迎え、「フィギュアスケートの世界へ」をテーマに演奏を披露
- 令和 4年 第44回定期演奏会で「世代を超えて愛される名曲の数々」をテーマに演奏を披露

消防音楽隊の編成

令和5年4月1日現在

隊 長	消防長	帖佐 義文	
副 隊 長		石田 正	
常任指揮者		塚田 隆雄	
フルート・ピッコロ	3	バリトンサキソフォン	1
オーボエ	1	トランペット	4
E♭ クラリネット	1	ホルン	4
クラリネット	6	ユーフォニウム	1
アルトクラリネット	1	トロンボーン	4
バスクラリネット	1	チューバ	2
アルトサキソフォン	2	ティンパニー・パーカッション	4
テナーサキソフォン	1	計	36

消防音楽隊の活動状況

令和4年度中

区 分	合 計	内 容				練 習
		演 奏				
		部 内	市関係	その他	計	
4 月	6					6
5 月	9		8		8	1
6 月	10		7		7	3
7 月	4		2		2	2
8 月	2					2
9 月	5					5
10 月	8					8
11 月	11	2			2	9
12 月	4		2		2	2
1 月	2					2
2 月	1					1
3 月	10			1	1	9
合 計	72	2	19	1	22	50

総務



当初予算の推移

(単位 千円)

科目		年度				
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
一般会計		113,430,000	115,970,000	120,290,000	122,160,000	125,810,000
消防費		4,049,916	4,080,905	3,979,486	4,104,305	4,052,283
消防費内訳	常備消防費	3,571,454	3,702,484	3,618,035	3,592,218	3,619,961
	非常備消防費	105,313	106,717	106,267	111,962	114,383
	消防施設費	366,231	264,340	248,825	393,770	311,571
	水防費	6,918	7,364	6,359	6,355	6,368

決算額と構成の推移

(単位 千円)

科目		年度				
		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
一般会計		113,679,172	115,202,350	115,195,501	158,299,264	141,471,605
消防費		3,718,491	4,228,143	4,030,706	3,947,622	3,953,220
消防費内訳	常備消防費	3,410,996	3,734,223	3,559,082	3,610,989	3,580,638
	非常備消防費	111,611	103,626	104,050	87,925	99,013
	消防施設費	186,285	383,378	360,656	242,213	267,210
	水防費	9,600	6,916	6,918	6,495	6,359
消防費の構成比		3.3%	3.7%	3.5%	2.5%	2.8%
人口一人当たりの消防費(円)		9,631	10,960	10,465	10,259	10,306
1世帯当たりの消防費(円)		23,731	26,670	25,125	24,285	24,076

消防職員の配置

令和5年4月1日現在(単位 人)

区 分		合 計	消 防 正 監	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士
合 計		398	1	2	15	28	77	187	28	60
消 防 本 部	消 防 長	1	1							
	消 防 次 長	1		1						
	消 防 次 長 兼 一 宮 消 防 署 長	1		1						
	課 長	1			1					
	専 任 課 長	1				1				
	総 務 課 付	4						4		
	庶 務 担 当	3					1	2		
	人 事 教 養 担 当	3					1	2		
	消 防 団 担 当	6					1	5		
	課 長	1			1					
	専 任 課 長	1				1				
	予 防 担 当	3					1	2		
	指 導 担 当	3					1	2		
	危 険 物 担 当	2					1	1		
	査 察 担 当	3					1	1	1	
	課 長	1			1					
	専 任 課 長	1				1				
	消 防 担 当	3					1	2		
	施 設 装 備 担 当	3					1	2		
	救 急 救 助 担 当	4					1	3		
本 部 救 急 隊	4					1	2	1		
通 信 課 長	1			1						
専 任 課 長	2				2					
課 長 補 佐	1					1				
第 1 課	7					2	5			
第 2 課	7					2	5			
一 宮 消 防 署	消 防 1 課 長	2			2					
	消 防 2 課 長	2			2					
	救 助 担 当 司 令	2				2				
	指 揮 係	8					2	6		
	警 防 1 係	14					2	6		6
	警 防 2 係 (特 別 消 防 隊)	10					2	7		1
	救 助 係 (高 度 救 助 隊)	12					2	6	4	
	救 急 係	12					2	6	1	3
	担 当 司 令	2				2				
	浅 井 ・ 西 成 消 防 出 張 所 警 防 係	8					2	4	1	1
浅 井 ・ 西 成 消 防 出 張 所 救 急 係	10					2	5	2	1	
千 秋	担 当 司 令	2				2				
	千 秋 消 防 出 張 所 警 防 係	8					2	4		2
	千 秋 消 防 出 張 所 救 急 係	10					2	5	1	2

令和5年4月1日現在(単位 人)

区 分		合 計	消 防 正 監	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	
一宮消防署	分署 署 長	1			1						
	担 当 司 令	2				2					
	警 防 係	12					2	8		2	
	救 急 係	12					2	4	3	3	
	第1(第2)課 大和	担 当 司 令	2				2				
		大和消防出張所 警防係	8					2	4		2
		大和消防出張所 救急係	10					2	4	1	3
	第1(第2)課 丹陽	担 当 司 令	2				2				
		丹陽消防出張所 警防係	8					2	6		
		丹陽消防出張所 救急係	10					2	5	1	2
尾西消防署	署 長	1			1						
	管 理 グ ル ー プ	3					1	1	1		
	消 防 1 課 長	2			2						
	消 防 2 課 長	2			2						
	指 揮 係	8					2	4	1	1	
	警 防 1 係	13					2	6	1	4	
	警 防 2 係 (特 別 消 防 隊)	10					2	4	1	3	
	救 急 係	10					2	4	2	2	
	第1(第2)課 萩原	担 当 司 令	2				2				
		萩原消防出張所 警防係	8					2	4		2
		萩原消防出張所 救急係	10					2	5		3
	今伊勢・奥	担 当 司 令	2				2				
		今伊勢・奥消防出張所 警防係	8					2	4		2
今伊勢・奥消防出張所 救急係		10					2	6	2		
木曾川消防署	署 長	1			1						
	管 理 グ ル ー プ	3					2	1			
	担 当 司 令	2				2					
	救 助 担 当 司 令	2				2					
	警 防 係	12					2	4		6	
	救 助 係 (特 別 救 助 隊)	12					2	7	1	2	
	救 急 係	10					2	5	2	1	
	第1(第2)課 葉栗	担 当 司 令	2				2				
		葉栗消防出張所 警防係	8					2	4		2
		葉栗消防出張所 救急係	10					2	5	1	2
第1(第2)課 北方	担 当 司 令	1				1					
	北方消防出張所 警防係	9					2	5		2	

※再任用短時間勤務職員(消防士長)10名を除く

消防職員の年齢

令和5年4月1日現在(単位 人)

区分	合計	消防正監	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士
合計	398	1	2	15	28	77	187	28	60
18歳から19歳	6								6
20歳以上24歳以下	37								37
25歳以上29歳以下	39							22	17
30歳以上34歳以下	26						20	6	
35歳以上39歳以下	68						68		
40歳以上44歳以下	81					6	75		
45歳以上49歳以下	92			1	10	58	23		
50歳以上54歳以下	29		1	9	9	9	1		
55歳以上60歳以下	20	1	1	5	9	4			
平均年齢	40.4	57.0	56.5	53.6	52.0	47.8	39.8	28.7	23.7

※再任用短時間勤務職員(消防士長)10名を除く

消防職員の勤続年数

令和5年4月1日現在(単位 人)

区分	合計	消防正監	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士
合計	398	1	2	15	28	77	187	28	60
1年未満から5年	65							8	57
6年から10年	30						10	17	3
11年から15年	70						67	3	
16年から20年	57					1	56		
21年から25年	73				7	24	42		
26年から30年	61			6	5	39	11		
31年から35年	22		2	3	8	8	1		
36年以上	20	1		6	8	5			
平均年数	18.2	39.0	33.0	33.1	31.6	27.9	17.6	7.0	3.3

※再任用短時間勤務職員(消防士長)10名を除く

消防職員資格等保有状況

令和5年4月1日現在(単位 人)

区 分		合 計	消 防 正 監	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士
救 急 救 命 士		95			2	10	26	40	8	9
	薬 剤 投 与 救 急 救 命 士	80			2	9	22	38	8	1
	気 管 挿 管 救 急 救 命 士	20				4	8	8		
救急Ⅱ課程・救急標準課程修了者		310		1	14	21	66	157	22	29
大型一種自動車免許		324	1	1	14	25	72	177	16	18
中型一種自動車免許		38					4	8	12	14
自 動 車 士 免 許	ディーゼル	2 級	1					1		
		3 級	2				2			
	ガソリン	2 級	3				2	1		
		3 級	3				2	1		
	シ ャ シ	3 級	4				3	1		
危 険 物 取 扱 免 状	甲 種	3					1	2		
	乙 種	第 4 類	57		1	6	14	34	2	
		第 6 類	14			3	2	8	1	
	丙 種	17			1	3	9	1		3
陸上特殊無線技士	第 2 級	276			3	3	30	166	25	49
	第 3 級	81	1		8	13	41	18		
消 防 設 備 士 免 状	甲 種	2					1	1		
	乙 種	19					6	12	1	
1・2級小型船舶操縦士免許		107	1		2	10	26	56	6	6
ガ ス 溶 接 技 能 講 習		19	1		1	2	8	7		
有 機 溶 剤 作 業 主 任 者 技 能 講 習		19					8	10	1	
高 圧 ガ ス 製 造 保 安 責 任 者 免 状		5				4	1			
第 一 種 衛 生 管 理 者 免 許		19			2	4	10	3		
ボ イ ラ ー 取 扱 技 能 講 習		4				2		2		
足 場 の 組 立 て 等 作 業 主 任 者 技 能 講 習		46	1		5	8	23	9		
小 型 移 動 式 ク レ ー ン 運 転 技 能 講 習		149	1	1	5	12	36	83	6	5
玉 掛 け 技 能 講 習		286	1		2	11	36	169	27	40
酸 素 欠 乏 ・ 硫 化 水 素 危 険 作 業 主 任 者 技 能 講 習		38	1		6	13	14	3	1	
潜 水 士 免 許		99	1		3	7	29	48	3	8
予 防 技 術 資 格 者 (防 火 査 察 専 門 員)		18			4	1	6	6	1	
予 防 技 術 資 格 者 (消 防 設 備 等 専 門 員)		11			2	1	3	5		
予 防 技 術 資 格 者 (危 険 物 専 門 員)		9			2	1	3	3		
接 遇 研 修 指 導 者		4				1	3			
J K E T 研 修 指 導 者		2			2					

消防職員教育研修状況

令和4年度中

科	目	回数	受講者	日数	科	目	回数	受講者	日数
○派遣教育					○その他の教養				
県消防学校					全国消防長会東海支部消防長研修会				
	初任科(第114期)	1	8	170		安全運転管理者講習会	1	4	1
	初任科(第115期)	1	7	173		副安全運転管理者講習会	1	1	1
	救急科(第131期)	1	5	52		整備主任者技術研修会	1	1	1
	救急科(第133期)	1	6	52		消防職員安全衛生研修会(東海支部)	1	2	1
	上級幹部科(第71期)	1	3	3		全国救急隊員シンポジウム	1	1	2
	危険物科(第62期)	1	2	5		全国救助シンポジウム	1	1	1
	救助科(第51期)	1	2	29	○資格取得・技能講習				
	火災調査科(第63期)	1	1	12		酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者技能講習	1	2	3
	はしご自動車等運用科(第36期)	1	1	3		有機溶剤作業主任者技能講習	1	1	2
	地震防災科(第17期)	1	2	2		小型移動式クレーン運転技能講習	1	6	3
	警防科(第71期)	1	2	16		2級小型船舶操縦士試験	1	4	1
	指揮隊科(第11期)	1	3	5		潜水士免許試験	1	2	1
救急救命士養成						予防技術検定	1	2	1
	名古屋市救急救命研修所(8/25～3/14)	1	1	202	○本部教養・所属教養				
	大阪市消防局高度専門教育訓練センター(9/1～3/14)	1	1	195		パワーハラスメント防止研修	1	76	1
救急救命士関係						消防倫理について	1	315	2
	包括プロトコール運用教育	1	4	1		定年延長対策講座	1	130	2
	薬剤投与プロトコール運用試験	1	3	1					
	救急業務教育指導者試験	1	2	1					
	救急業務教育指導者講習	4	12	1					
	処置範囲拡大救急救命士プロトコール運用試験	1	3	1					
	コ・メディカルセミナー	1	1	1					
	日本救急医学会中部地方会	1	5	1					
	日本災害医学会学術集会	1	1	3					
	指導救命士養成研修	1	1	44					
	感染症対策強化研修	1	1	5					
	救急救命士業務実地修練	1	1	5					

災害防止

平成29年9月労働安全衛生法の規定に基づき、一宮市職員安全衛生管理規程が定められ、消防本部の安全衛生管理体制も強化され、災害の防止に取り組んでいます。

〈安全衛生管理体制〉

令和5年4月1日現在

区 分	総 括 安全衛生 管理 者	副安全衛 生管理 者	衛 生 者 管 理 者	委 員	産 業 医	安全衛生 推 進 者
人 員	1	2	2	6	2	12

安全管理

最近の公務災害は、3年間で8件発生しています。

〈過去3年間の災害種別公務災害発生状況〉

(単位 件)

区 分	合 計	消防訓練中	消火活動中	救急活動中	救助活動中	その他
合 計	8	2			2	3
令和2年中	1	1				
令和3年中	1	1				
令和4年中	6			1	2	3

消防協力者表彰

火災その他の災害現場において早期発見、消火・救助等の協力及び消防施設の強化充実、保全等消防に対して著しく功労があった方に市長感謝状として贈るものです。

令和4年中

表彰種別	合 計	火 災	救 助	救 急	その他
表彰件数	3	1		2	
表彰人員	5	2		3	

施設・装備充実事業



《千秋1号車、北方1号車 更新》

水槽付消防ポンプ自動車

○ 1,500リットルの水槽及びC A F S（圧縮空気泡消火装置）を装備し、消防用資機材、A E Dを含む呼吸管理資機材を積載



《葉栗救急1号車 更新》

高規格救急自動車

○ 高度救命処置用資機材及び応急処置資機材を積載



《葉栗南、西成南、丹陽、萩原、奥分団車両 更新》

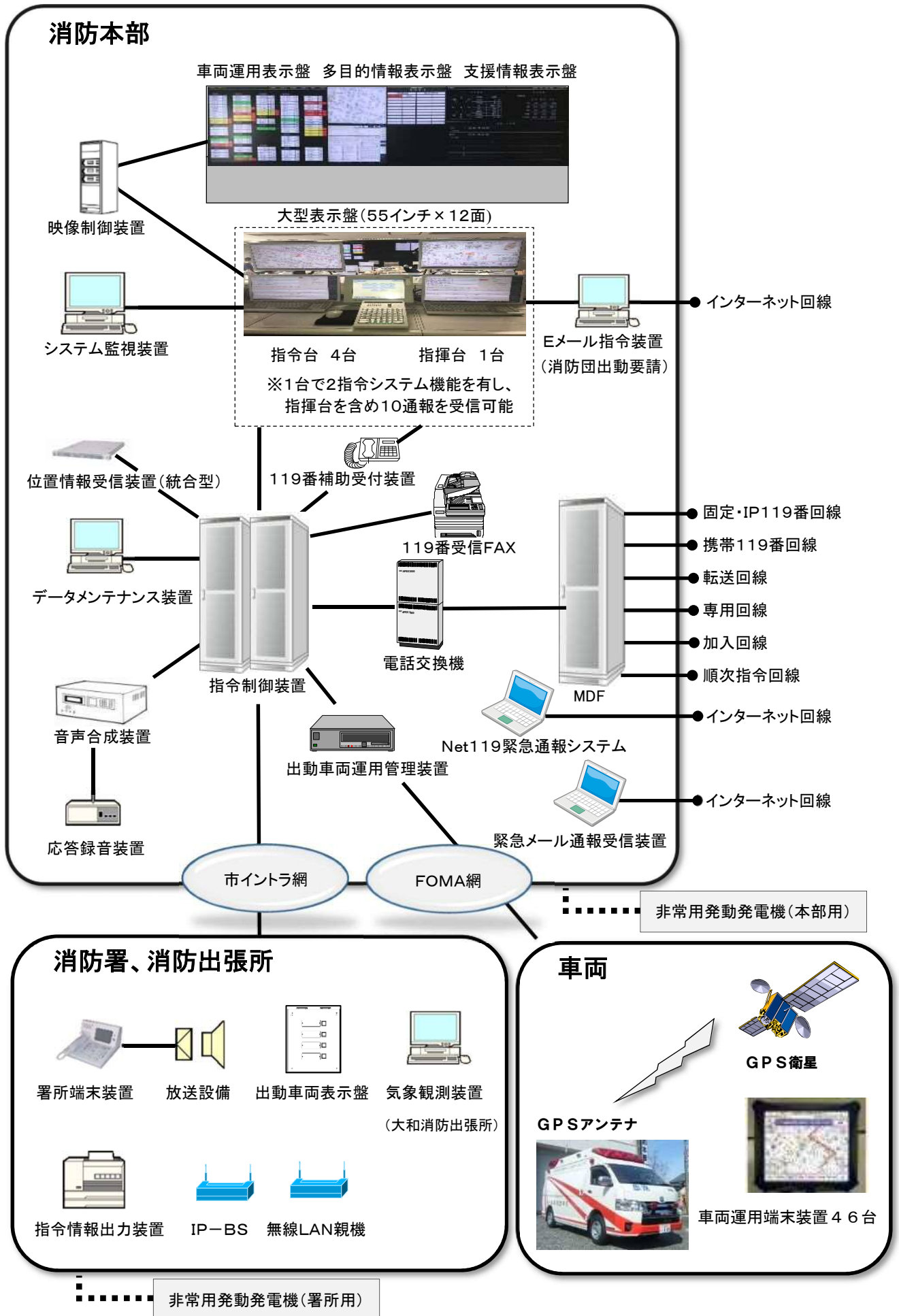
小型動力ポンプ付積載車

○ B2級小型動力ポンプ及び救助資機材を積載

通信・気象



指令システム構成図



無線設備

消防救急無線(260MHz帯)

令和5年4月1日現在

種別		出力	実装チャンネル数	局数	
基地局		10W	統制波 3 主運用波 1 活動波 6	1	
移動局	車載型	10W	統制波 3 主運用波 7 活動波 5	61	141
	携帯型	5W	統制波 3 主運用波 7 活動波 5	75	
	可搬型	10W	統制波 3 主運用波 7 活動波 5	4	
	卓上型	10W	統制波 3 主運用波 7 活動波 5	1	

署活動系無線(400MHz帯)

種別	出力	実装チャンネル数	局数
携帯型	1W	署活動波 2 防災相互波 1	30

特定小電力ランシーバー

種別	出力	実装チャンネル数	局数
携帯型	0.01W	47	170

指令回線等一覧表

指令システム

令和5年4月1日現在

項目	名 称	回線数	内 訳												
1	119番回線(固定電話用)	6	・12ch												
2	119番回線(携帯電話用)	4	・8ch												
3	指令回線	12	・署所端末装置指令回線:12 (<table style="display: inline-table; vertical-align: middle; border: none;"> <tr> <td style="padding-right: 10px;">一宮消防署本署</td> <td>尾西消防署</td> </tr> <tr> <td>浅井・西成消防出張所</td> <td>萩原消防出張所</td> </tr> <tr> <td>千秋消防出張所</td> <td>今伊勢・奥消防出張所</td> </tr> <tr> <td>一宮消防署分署</td> <td>木曾川消防署</td> </tr> <tr> <td>大和消防出張所</td> <td>葉栗消防出張所</td> </tr> <tr> <td>丹陽消防出張所</td> <td>北方消防出張所</td> </tr> </table>)	一宮消防署本署	尾西消防署	浅井・西成消防出張所	萩原消防出張所	千秋消防出張所	今伊勢・奥消防出張所	一宮消防署分署	木曾川消防署	大和消防出張所	葉栗消防出張所	丹陽消防出張所	北方消防出張所
一宮消防署本署	尾西消防署														
浅井・西成消防出張所	萩原消防出張所														
千秋消防出張所	今伊勢・奥消防出張所														
一宮消防署分署	木曾川消防署														
大和消防出張所	葉栗消防出張所														
丹陽消防出張所	北方消防出張所														
4	内線回線	6	・PBX内線収容												
5	専用回線	4	・中部電力 ・東邦ガス ・中日本高速道路 ・名古屋高速道路												
6	転送回線(ISDN)	2	・4ch												
7	加入電話(ISDN)	2	・4ch												
8	庁内放送回線	1	・庁内放送用												
9	音声合成回線	18	・指令用、無線用(兼用):9 ・順次指令用:8 ・災害テレホンサービス用:1												

電話回線

項目	名 称	回線数	内 訳
1	加入回線(ISDN)	1	・2ch(障害時用)
2	加入回線(アナログ)	4	・FAX用:2 ・FAX兼119番迂回用:1 ・119番迂回用:1
3	携帯電話	42	・救急隊:14、指揮隊:2、警防隊:18、救助隊:3 通信指令課:5
4	加入回線(NTTひかり)	1	・27ch、33番号

月別119番受信状況

令和4年中(単位 件)

種別	月													
	合計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
合計	24,723	1,921	1,847	1,949	1,855	1,915	2,006	2,262	2,585	2,034	1,921	2,041	2,387	
火災	144	15	19	8	4	19	4	13	5	7	12	16	22	
救急	18,128	1,514	1,401	1,454	1,350	1,353	1,447	1,704	1,771	1,505	1,431	1,438	1,760	
救助	177	12	13	18	13	27	15	18	15	14	10	9	13	
その他の害	49	5		2	1	4	7	3	3	10	4	1	9	
いたづら	88	2	12	8	10	7	13	9	21			4	2	
間違い	1,916	115	139	167	142	174	142	151	178	188	142	167	211	
問合せ	1,248	76	92	82	63	56	58	84	367	98	82	78	112	
病院 問合せ	332	24	24	14	24	22	27	36	42	17	23	40	39	
訓練通報	482	18	30	41	60	39	53	31	12	36	49	77	36	
試験通報	1,308	90	81	110	118	139	123	96	74	102	110	149	116	
その他	501	25		15	48	56	86	85	72	33	27	25	29	
転送	350	25	36	30	22	19	31	32	25	24	31	37	38	

携帯電話からの月別119番受信状況

令和4年中(単位 件)

種別 \ 月	合計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
合計	12,993	964	931	994	965	979	1,112	1,236	1,319	1,094	1,018	1,110	1,271
火災	112	12	17	6	4	13	2	13	4	5	9	15	12
救急	9,505	734	696	738	706	695	811	900	954	812	761	784	914
救助	148	9	11	14	11	22	11	16	14	12	9	9	10
その他の害	43	3		1	1	4	7	2	3	10	4	1	7
いたづら	30	1	5	4	3	4	6	4	2			1	
間違い	1,374	88	98	114	95	122	101	107	126	130	106	130	157
問合せ	748	53	53	60	49	36	44	64	125	63	68	58	75
病院問合せ	225	20	14	10	16	17	21	23	33	14	9	23	25
訓練通報	90	4	1	1	17	3	13	7	1	4	6	24	9
試験通報	50	1		9	7	2	2	7	3	3		12	4
その他	334	14		11	34	42	64	62	31	18	17	18	23
転送	334	25	36	26	22	19	30	31	23	23	29	35	35

月別気象状況

令和4年中

区分	気温(℃)			風速(m/s)		相対湿度(%)		実効湿度(%)		降水量(mm)
	最低	最高	平均	最大瞬間	平均	最小	平均	最小	平均	
1月	-3.6	13.7	3.5	30.2	1.5	28.3	66.6	60.3	67.9	28.0
2月	-3.1	15.3	3.9	33.7	1.6	27.4	68.4	58.5	68.4	38.5
3月	0.0	22.4	10.3	32.5	1.7	18.8	62.1	53.7	61.3	101.0
4月	3.2	29.6	16.5	15.5	1.7	14.1	66.5	52.0	65.9	100.0
5月	8.1	33.5	19.4	15.7	1.6	19.1	64.2	56.9	64.7	165.0
6月	14.6	39.0	24.6	14.9	1.5	23.6	72.0	58.2	72.0	124.0
7月	21.8	39.9	27.8	12.8	1.3	32.4	77.8	59.0	77.0	455.0
8月	20.2	38.3	28.5	16.3	1.3	39.7	78.6	67.2	77.7	251.5
9月	16.4	35.0	25.9	19.7	1.6	39.7	77.3	68.1	77.4	227.5
10月	6.6	31.0	17.9	14.2	1.0	22.4	70.5	60.8	71.3	72.5
11月	6.2	23.7	14.1	14.4	1.2	25.8	71.6	65.2	70.3	117.0
12月	-1.9	15.8	6.1	17.0	1.4	25.8	70.1	63.0	70.1	29.5
年間	-3.6	39.9	16.5	33.7	1.5	14.1	70.5	52.0	70.3	1,709.5

(観測地:大和消防出張所)

一宮市の警報・注意報発表基準

発表官署 名古屋地方気象台 令和4年5月26日現在

警報の種類		基準	
大雨	(浸水害)	表面雨量指数基準	23
	(土砂災害)	土壌雨量指数基準	—
洪水	流域雨量指数基準	五条川流域=19.6、青木川流域=11.3、大江用水流域=10 光堂川流域=6.4、野府川流域=6.1	
		複合基準※	五条川流域=(11、19.3)、青木川流域=(17、7.6)、大江用水流域=(21、5.7) 野府川流域=(11、5.4)、日光川流域=(17、14.5)
	指定河川洪水予報による基準	木曾川中流〔犬山・笠松〕、愛知県日光川水系 日光川〔戸荻・古瀬〕	
暴風	平均風速	20m/s	
暴風雪	平均風速	20m/s 雪を伴う	
大雪	降雪の深さ	12時間降雪の深さ10cm	

注意報の種類		基準	
大雨	表面雨量指数基準	13	
	土壌雨量指数基準	140	
洪水	流域雨量指数基準	五条川流域=12.9、青木川流域=5.9、大江用水流域=8 光堂川流域=5.1、野府川流域=4.8	
		複合基準※	五条川流域=(11、12.5)、青木川流域=(11、5.7)、大江用水流域=(7、5.1) 光堂川流域=(9、2.8)、野府川流域=(7、3.6)、木曾川流域=(11、77.5)、日光川流域=(7、9)
	指定河川洪水予報による基準	木曾川中流〔犬山・笠松〕、愛知県日光川水系 日光川〔戸荻〕	
強風	平均風速	13m/s	
風雪	平均風速	13m/s 雪を伴う	
大雪	降雪の深さ	12時間降雪の深さ5cm	
雷	落雷等により被害が予想される場合		
濃霧	視程	100m	
乾燥	最小湿度30%で、実効湿度60%		
低温	冬期:最低気温-4℃以下		
霜	晩霜期に最低気温3℃以下		
着氷・着雪	著しい着氷(着雪)が予想される場合		
記録的短時間大雨情報	1時間雨量	100mm	

※(表面雨量指数、流域雨量指数)の組み合わせによる基準値を表しています。

消防団



消防団の現況

消防団は郷土愛護の精神に基づき、地域に密着した防災活動機関として地震・風水害・火災等の災害時には、市民の生命財産の保護等消防防災活動に当たるとともに、平常時には火災予防広報、防災指導等に従事し、地域防災上重要な役割を果たしています。

平成23年3月11日に発生した東日本大震災を機に、大規模災害発生時の消防力の強化が極めて重要な課題となっております。本市においても、平成24年4月1日から大規模災害及び昼間帯の建物火災のみに出動する支援団員制度を導入しました。

令和4年度中における主な活動は、火災出動延べ110回、533人、訓練出動延べ2,131回、15,226人でその他、観閲式、警戒警備等に出動し活躍しています。

このように地域防災の中核として広域な活動を任務とする消防団員に対して本市では、災害補償制度、退職報償金制度等の充実を図り、また、教育訓練の充実、若手リーダーの育成等に努めています。

消防団及び消防団員の状況

令和5年4月1日現在

団 数	分 団 数	定 数	消 防 団 員 現 員 数							
			合 計	団 長	副 団 長	分 団 長	副 分 団 長	部 長	班 長	団（支 援 団 員）
1	25	605(100)	493(44)	1	4	25	25	25	25	388(44)

※()内は支援団員数で内数で記載

消防団の活動状況

令和4年度中

区 分	合 計	火 災	訓 練	式 典	警 戒 警 備	水 難 捜 索	風 水 害	点 検
延 出 動 回 数	2,583	110	2,131	27	95			220
延 出 動 人 員	17,437	533	15,226	283	977			418

団員報酬額

年額報酬

令和5年4月1日現在

階級	基本団員							支援団員
	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	団員
金額(円)	125,000	104,500	72,500	54,000	42,000	40,500	39,000	10,000

出勤報酬

令和5年4月1日現在

出勤区分	災害出勤		訓練等	観閲	出初め	警戒	年末警戒	機械点検
	4時間までの出勤	4時間を超える出勤	出勤	出勤	出勤	出勤	出勤	出勤
金額(円)	4,000	8時間までごとに8,000	1,700	2,600	2,600	2,200	2,600	2,000

費用弁償

令和5年4月1日現在

出勤区分	災害出勤	訓練等	観閲	出初め	警戒	年末警戒	機械点検
	出勤	出勤	出勤	出勤	出勤	出勤	出勤
金額(円)	200						

消防団員の退職状況

令和4年度中(単位 人)

合計	5年未満	5年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上 20年未満	20年以上 25年未満	25年以上 30年未満	30年以上
46	19	5	5	2	2	1	12

消防団員の新任状況

令和4年度中(単位 人)

合計	21歳未満	21歳以上 25歳以下	26歳以上 30歳以下	31歳以上 35歳以下	36歳以上 40歳以下	41歳以上 45歳以下	46歳以上 50歳以下	51歳以上
29	7	7	2	2	1	2	4	4

消防団員の勤続年数

令和5年4月1日現在(単位 人)

合計	5年未満	5年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上 20年未満	20年以上 25年未満	25年以上 30年未満	30年以上
493	101	85	69	78	67	41	52

消防団員の職業構成と就業形態

令和5年4月1日現在(単位 人)

職業構成	公務員等	国家公務員	
		地方公務員	8
		特殊法人等公務員に準ずる職員	25
	その他	460	
合計			493
就業形態	被雇用者	294	
	自営業者	108	
	家族従事者	11	
	その他	80	

消防団員の年齢

令和5年4月1日現在(単位 人)

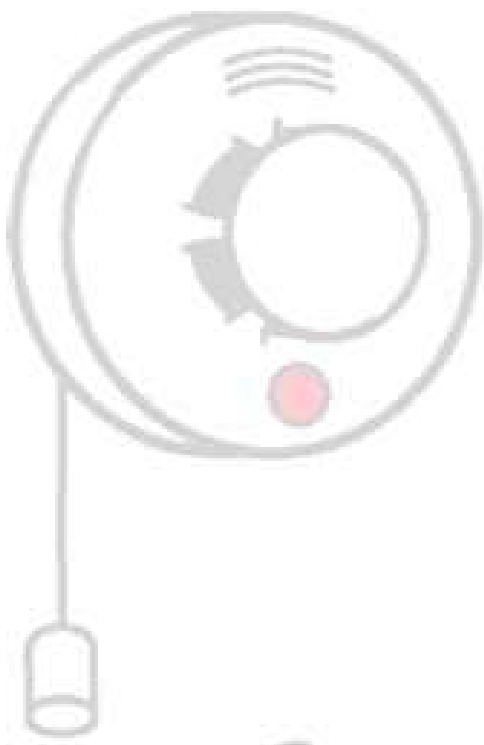
区分	合計	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員 (支援団員含む)
合計	493	1	4	25	25	25	25	388
18歳	2							2
19歳	4							4
20歳	9							9
21歳	7							7
22歳	6							6
23歳	4							4
24歳	7							7
25歳	2							2
26歳	2							2
27歳	2							2
28歳								
29歳	3						1	2
30歳	1							1
31歳	5							5
32歳								
33歳	3							3
34歳	8						1	7
35歳	5							5
36歳	7			1				6
37歳	3				1			2
38歳	6							6
39歳	6						1	5
40歳	6			1			1	4
41歳	8							8

消防団員の年齢

令和5年4月1日現在(単位 人)

区分	合計	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員 (支援団員含む)
42歳	14				1	4	1	8
43歳	8				1		2	5
44歳	6							6
45歳	17				1	4	1	11
46歳	23				1	1	4	17
47歳	17				1	1	1	14
48歳	16			1	5	3		7
49歳	20				2	1		17
50歳	21			1	1		3	16
51歳	22			1	3	1	3	14
52歳	24			2		2	2	18
53歳	10							10
54歳	15		1			1	1	12
55歳	20		1	1	1	1	2	14
56歳	14			1	1			12
57歳	13		1	1		2		9
58歳	11				1			10
59歳	14			2	1	1		10
60歳	7	1		2				4
61歳	14			3		2		9
62歳	8		1	1				6
63歳	9			2				7
64歳	5					1		4
65歳以上	59			5	4		1	49

平均年齢	49.4
------	------



予 防



火災予防普及活動状況

火災発生防止と火災発生時の早期通報、初期消火、避難誘導等一連の初期消火活動が行われるためには、市民一人ひとりの火災予防に対する理解と認識が必要です。そこで市民の火災予防に対する認識を深めるために、春秋の火災予防運動を中心に市広報誌等に火災予防記事の掲載、また、事業所等の消防訓練時に防火管理体制の確立等幅広い広報活動を展開しています。

(上段:実施回数)
令和4年度中 (下段:参加人員)

区 分	市 広 報 掲 載	消 防 訓 練	研 修 会 講 演 会	甲 種 防 火 管 理 新 規 講 習 習
合 計	25	1,117 49,177	11 137	3 108
4 月	2	51 1,475	2 14	
5 月	1	116 3,275	2 20	
6 月	2	105 3,730		
7 月	2	58 1,969	1 5	
8 月	5	29 792		
9 月	2	114 5,393	1 2	(新規講習) 2 92
10 月		140 7,358	1 11	
11 月	3	169 8,451		
12 月	3	81 3,535	1 54	
1 月	3	50 3,138	1 15	
2 月	1	62 2,341	1 7	(再講習) 1 16
3 月	1	142 7,720	1 9	

幼年・少年・婦人消防クラブの現況

令和5年4月1日現在

幼 年 消 防 ク ラ ブ		少 年 消 防 ク ラ ブ		婦 人 消 防 ク ラ ブ	
ク ラ ブ 数	ク ラ ブ 員 数	ク ラ ブ 数	ク ラ ブ 員 数	ク ラ ブ 数	ク ラ ブ 員 数
86	8,394	42	6,674	8	293

街頭消火器設置状況

令和5年4月1日現在(単位 本)

連 区	設 置 本 数	連 区	設 置 本 数
宮 西	308	今 伊 勢 町	589
貴 船	281	奥 町	349
神 山	408	萩 原 町	495
大 志	231	千 秋 町	454
向 山	260	起	108
富 士	294	小 信 中 島	237
葉 栗	417	三 条	291
西 成	806	大 徳	267
丹 陽 町	606	朝 日	382
浅 井 町	506	開 明	224
北 方 町	251	木 曾 川 町	867
大 和 町	927	合 計	9,558



1.安全栓を抜く



2.ホースを火元に向ける
(ホースの先端を持つ)



3.レバーを強く握り
放射します

街頭消火器火災使用状況

令和4年度中

区 分	合 計		建物火災		車両火災		その他の火災	
	件数	本数	件数	本数	件数	本数	件数	本数
合 計	2	4	2	4				
4 月								
5 月								
6 月								
7 月	1	2	1	2				
8 月								
9 月								
10 月								
11 月								
12 月	1	2	1	2				
1 月								
2 月								
3 月								



査察対象物数

令和5年4月1日現在

防火対象物		査察種別	1	2	3	合 計	特定防火対象物	非特定防火対象物
			種	種	種			
合 計			1,403	1,817	1,808	5,028	2,251	2,777
1	イ	映画館・観覧場等	5			5	5	
	ロ	公会堂・集会場	87		83	170	170	
2	イ	キャバレー・カフェ等	2		3	5	5	
	ロ	遊技場・ダンスホール	17			17	17	
	ハ	性風俗関連特殊営業店舗等	1		8	9	9	
	ニ	カラオケボックス等	11			11	11	
3	イ	待合・料理店	4			4	4	
	ロ	飲食店	60		238	298	298	
4		百貨店・マーケット	235		251	486	486	
5	イ	旅館・ホテル	24			24	24	
	ロ	寄宿舎・共同住宅		852	370	1,222		1,222
6	イ	病院・診療所	99		76	175	175	
	ロ	老人短期入所施設等	188			188	188	
	ハ	老人デイサービスセンター・保育所等	181		119	300	300	
	ニ	幼稚園・特別支援学校等	24		2	26	26	
7		小・中・高・大学校等	16	63	8	87		87
8		図書館等		6		6		6
9	イ	蒸気浴場・熱気浴場						
	ロ	公衆浴場		4	2	6		6
10		車両停車場・船舶・航空機発着場						
11		神社・寺院・教会		10	48	58		58
12	イ	工場・作業場	37	418	65	520		520
13	イ	自動車車庫・駐車場	5	9		14		14
14		倉庫	50	232	27	309		309
15		官公署・事務所等	14	160	218	392		392
16	イ	特定複合用途防火対象物	340		193	533	533	
	ロ	特定以外の複合用途防火対象物	3	60	97	160		160
17		文化財建造物		3		3		3
18		アケード						

備考

- 1種:定期点検報告を必要とする、又は消火設備(消火器を除く)の設置を必要とする、又は自動火災報知設備の設置を必要とする特定防火対象物並びに5項ロを除く延べ面積5,000平方メートル以上の非特定防火対象物
- 2種:消火設備(消火器を除く)の設置を必要とする、又は自動火災報知設備の設置を必要とする非特定防火対象物(第1種を除く)
- 3種:消防法第8条第1項に定める防火管理者を必要とする防火対象物(上記防火対象物を除く)

各種届出件数

令和4年度中

区 分	合計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
消 防 計 画 作 成 (変 更) 届	545	98	35	44	68	27	35	56	34	30	37	29	52
防 火 ・ 防 災 管 理 者 選 任 (解 任) 届	639	121	49	55	74	30	50	62	37	34	40	31	56
全 体 に つ い て の 消 防 計 画 作 成 (変 更) 届	1							1					
統 括 防 火 ・ 防 災 管 理 者 選 任 (解 任) 届	1							1					
防 火 対 象 物 点 検 結 果 報 告 書	126	9	4	15	6	17	10	15	12	11	7	9	11
防 災 管 理 点 検 結 果 報 告 書	12	4	2		1		1	3					1
管 理 権 原 者 変 更 届													
自 衛 消 防 組 織 設 置 (変 更) 届	2						1					1	
ボ イ ラ ー 等 設 置 届	38	1	1	5	4	2	3	4	5	1	2	3	7
変 電 設 備 設 置 届	37	1	3	2	6	4	2	3	6	1	3	5	1
燃 料 電 池 発 電 設 備 設 置 届													
発 電 設 備 設 置 届	13			2		2		1	1	3	1	3	
蓄 電 池 設 備 設 置 届	9		3	1			1	1				2	1
急 速 充 電 設 備 設 置 届	2								2				
ネ オ ン 管 灯 設 備 設 置 届													
火 災 と ま ぎ ら わ し い 煙 ・ た き 火 届	255	3	4	5	5	1	10	28	70	105	18	5	1
煙 火 打 上 げ ・ 仕 掛 け 届	1				1								
溶 接 ・ 溶 断 作 業 届	123	8	11	17	8	9	13	8	9	5	7	14	14
催 物 開 催 届	15	1	2		6	1	1	1	1			1	1
水 道 断 ・ 減 水 届													
道 路 工 事 届	3,069	192	209	254	280	281	270	302	338	271	253	186	233
露 店 等 の 開 設 届	62	2	4	2	8	5	7	5	6	10		3	10
圧 縮 ア セ チ レ ン ガ ス 等 貯 蔵 取 扱 開 始 届	107	5	10	6	7	7	12	11	15	8	8	8	10
少 量 危 険 物 貯 蔵 取 扱 届	28	3	2	2	4	4	1	1	2	2	1	2	4
少 量 危 険 物 貯 蔵 取 扱 廃 止 届	12	3	3				1	2	1			2	
指 定 可 燃 物 貯 蔵 取 扱 届	12	1	2				2	2	1		1		2
指 定 可 燃 物 貯 蔵 取 扱 廃 止 届	1							1					
消 防 用 設 備 等 設 置 届	366	26	15	32	25	24	40	20	26	32	30	41	55
消 防 用 設 備 等 点 検 結 果 報 告 書	4,130	357	414	347	330	424	283	300	332	363	251	334	395
消 防 用 設 備 等 着 工 届	316	25	17	28	40	20	19	24	28	27	22	30	36
避 難 ・ 警 報 設 備 着 工 届	199	20	13	18	18	12	15	12	16	7	32	22	14
消 防 用 設 備 等 の 特 例 適 用 願	8				1				1	1	1	1	3
防 火 対 象 物 使 用 開 始 届	222	18	11	17	15	11	23	13	17	17	27	21	32
喫 煙 等 の 禁 止 解 除 申 請	85	31	12	11	2	2	4	1	3	4	4	6	5
指 定 洞 道 等 届													
消 防 訓 練 実 施 届	1,158	82	118	98	51	71	118	166	134	58	62	90	110
防 火 防 災 訓 練 実 施 届	95	30	13	11	9	4	5	11	5	3	1	3	

用途別同意建築物数

令和4年度中

防 火 対 象 物		合計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
合 計		501	36	70	32	46	46	49	34	43	28	42	35	40
1	イ 映画館・観覧場等													
	ロ 公会堂・集会場	2						2						
2	イ キャバレー・カフェ等													
	ロ 遊技場・ダンスホール	2										2		
	ハ 性風俗関連特殊 営 業 店 舗 等													
3	イ 待合・料理店													
	ロ 飲 食 店	9	3				1	1	2		1		1	
4	百貨店・マーケット	18	1	1	3	2	2	1	1	2	2		2	1
5	イ 旅館・ホテル													
	ロ 寄宿舎・共同住宅等	29	2	2	3	3	4	4	2		1	6	2	
6	イ 病院・診療所等	15	1			1	1	3	3		1	2	2	1
	ロ 特定社会福祉施設等	18	5	4		2	1	1	1	2		1		1
	ハ 社会福祉施設・保育園等	13	1		1			1	3	1		4		2
	ニ 幼稚園・特別支援学校													
7	小・中・高・大学校等	4		2	1	1								
8	図 書 館 等													
9	イ 蒸気浴場・熱気浴場													
	ロ 公 衆 浴 場													
10	車 両 の 停 車 場 等													
11	神 社 ・ 寺 院 ・ 教 会	4	1	1			1		1					
12	イ 工 場 ・ 作 業 場	24	3		5	5	1	3	1	2	1	1	1	1
13	イ 自 動 車 車 庫 ・ 駐 車 場	18	1	2	1	3	2	1	2	3		1	2	
14	倉 庫	35	6	3	1	7		2	7	1	3	2	1	2
15	官 公 署 ・ 事 務 所 等	94	3	35	3	6	10	6	3	8	5	2	5	8
16	イ 特定複合用途防火対象物	8					3	1	1			1		2
	ロ 特定以外の複合用途 防 火 対 象 物	14		3	2		1	2		2	3	1		
専 用 住 宅		194	9	17	12	16	19	21	7	22	11	19	19	22

危険物施設数

令和5年4月1日現在

区 分	合 計	製 造 所	貯 蔵 所								取 扱 所				
			小 計	屋 内 貯 蔵 所	屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所	屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所	地 下 タ ン ク 貯 蔵 所	簡 易 タ ン ク 貯 蔵 所	移 動 タ ン ク 貯 蔵 所	屋 外 貯 蔵 所	小 計	給 油 取 扱 所	セ ル フ 給 油 取 扱 所	一 般 取 扱 所	販 売 取 扱 所
合 計	406	3	255	57	36	26	84		48	4	148	109	37	38	1
宮 西	9		4	2			2				5	2		2	1
貴 船	5		2				2				3	3	2		
神 山	18		15	1	3	1	2		8		3	1		2	
大 志	3		2				2				1			1	
向 山	13		9	1			3		4	1	4	3	1	1	
富 士	7		3	1			2				4	3	1	1	
葉 栗	9		4				3			1	5	5	2		
西 成	46		33	2	8		5		18		13	12	4	1	
丹 陽 町	37		23	7	1	1	9		5		14	11	5	3	
浅 井 町	15		10	2	1	2	5				5	3	2	2	
北 方 町	20	3	12	1	3		7			1	5	2		3	
大 和 町	29		15	3		2	9			1	14	10	5	4	
今 伊 勢 町	9		7	3	1	2	1				2	1	1	1	
奥 町	14		11	2		4	5				3	2	1	1	
菰 原 町	29		14	5	1	1	2		5		15	14	1	1	
千 秋 町	16		6	1		2	3				10	10	3		
起	1		1			1									
小 信 中 島	4		3	1	1	1					1	1	1		
三 条	9		3	1			2				6	5	3	1	
大 徳	5		5			1	3		1						
朝 日	57		41	16	10	3	9		3		16	5		11	
開 明	19		15	5		3	6		1		4	2	1	2	
木 曾 川 町	32		17	3	7	2	2		3		15	14	4	1	

指定数量の倍数・類別危険物施設数

令和5年4月1日現在

区分	合計	製造所	貯蔵所								取扱所						
			小計	屋内	屋外	屋内	地下	簡易	移動	屋外	小計	給油取扱所	セルフ給油取扱所	一般取扱所	販売取扱所		
				貯蔵所	タンク貯蔵所	タンク貯蔵所	タンク貯蔵所	タンク貯蔵所	タンク貯蔵所	タンク貯蔵所							
許可施設数	406	3	255	57	36	26	84		48	4	148	109	37	38	1		
倍数別	5倍以下	132		118	25	8	17	35		32	1	14			13	1	
	5倍を超え 10倍以下	82	1	61	17	10	9	22			3	20	5		15		
	10倍を超え 50倍以下	104	1	53	13	16		20		4		50	42		8		
	50倍を超え 100倍以下	24	1	20	2	1		5		12		3	2		1		
	100倍を超え 150倍以下	4		1				1				3	3				
	150倍を超え 200倍以下	14		1		1						13	13	1			
	200倍を超え 1,000倍以下	46		1				1				45	44	36	1		
	1,000を超え 5,000倍以下																
	5,000倍を超え 10,000倍以下																
	10,000倍を超えるもの																
類別	第1類																
	第2類																
	第3類																
	第4類	403	3	252	54	36	26	84		48	4	148	109	37	38	1	
	第5類	1		1	1												
	第6類																
混在	2		2	2													

危険物施設の設置・変更許可等

令和4年度中

区分	製造所	貯蔵所								取扱所				
		小計	屋内貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	簡易タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	屋外貯蔵所	小計	給油取扱所	セルフ給油取扱所	一般取扱所	販売取扱所
許可	設置	10	6	1			3		2	4	2		2	
	変更	31	1					1		30	18	11	12	
仮使用承認		28								28	17	11	11	
完成検査	設置	8	6	1			2		3	2	1		1	
	変更	24	1					1		23	14	9	9	
仮貯蔵・仮取扱承認														

タンク検査状況

令和4年度中

検査区分	容量	件数	小計	合計
水張検査	1万リットル以下のタンク	14	14	14
	1万リットルを超え、5万リットル以下のタンク			
	5万リットルを超え、10万リットル以下のタンク			
	10万リットルを超えるタンク			
水圧検査	1万リットル以下のタンク			
	1万リットルを超え、5万リットル以下のタンク			
	5万リットルを超え、10万リットル以下のタンク			
	10万リットルを超えるタンク			

危険物施設届出等状況

令和4年度中

合計	予防規程制定・変更認可申請	譲渡引渡	品名・数量・倍数変更届	廃止届	変更届	事故発生届	休止・再開届	許可書等再交付申請	設置・変更取りやめ届	設置・変更許可申請取下書	保安監督者選任・解任届	資料提出書	火気使用届	軽微工事届	地下貯蔵タンク等に関する計画届
179	17	3	2	9	17	9	2				32	27		61	

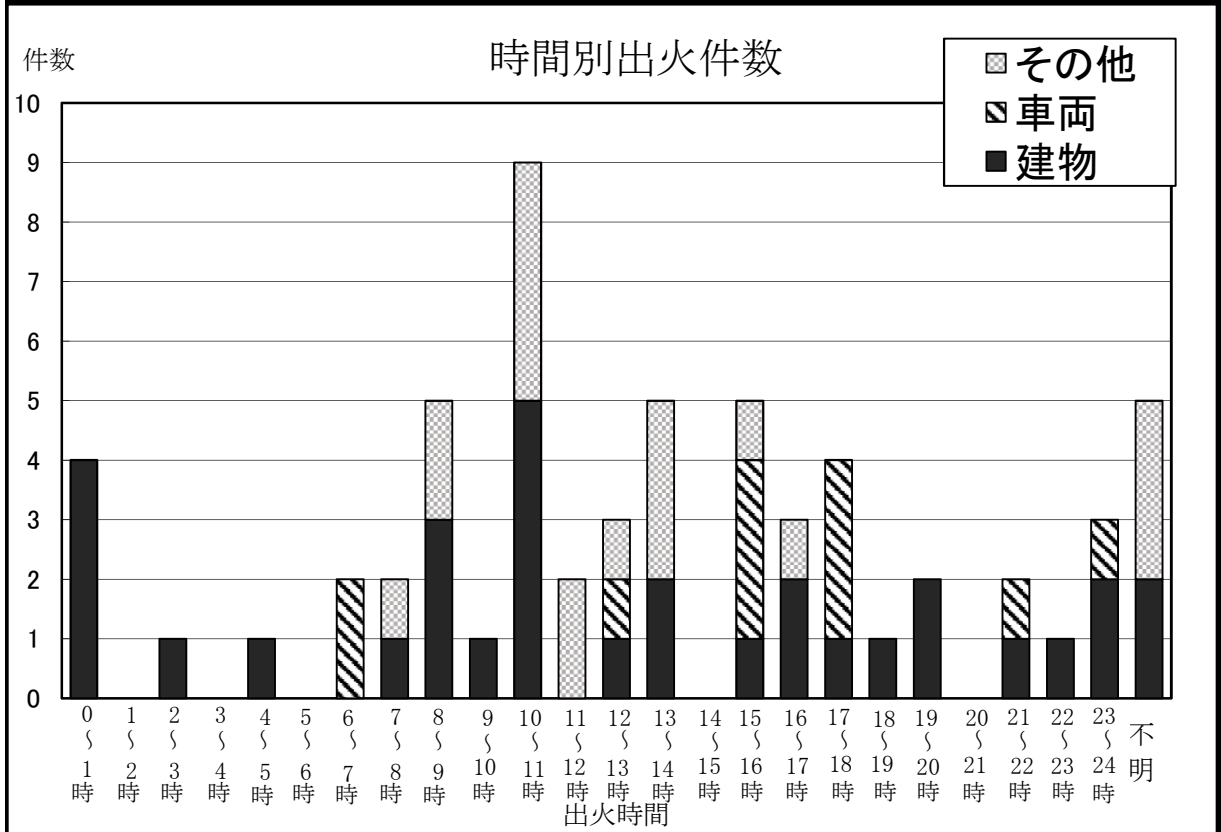
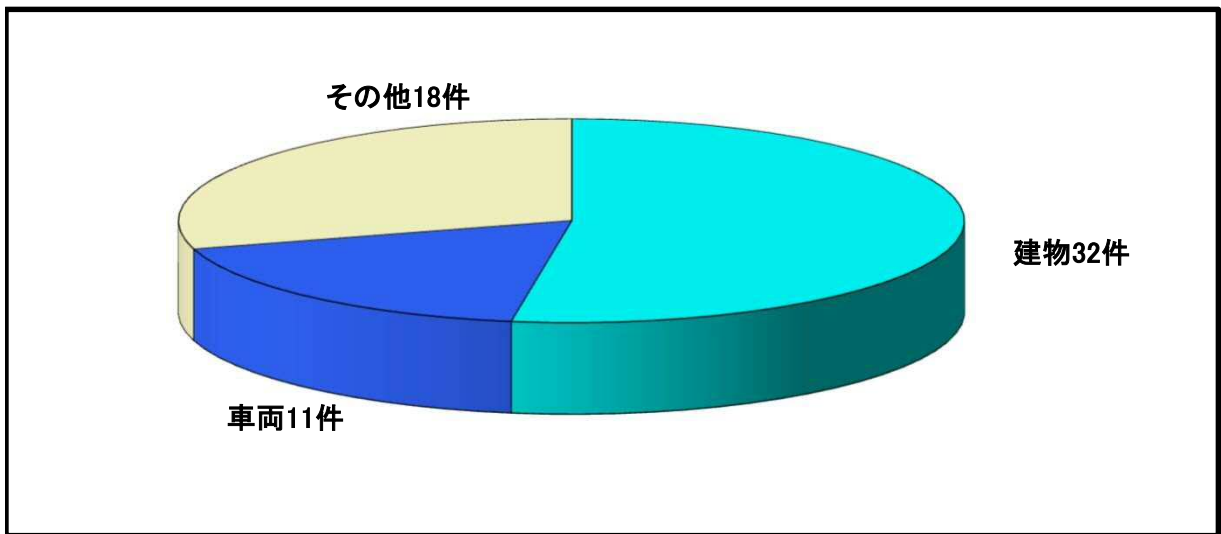
火災



火災の概況

令和4年中

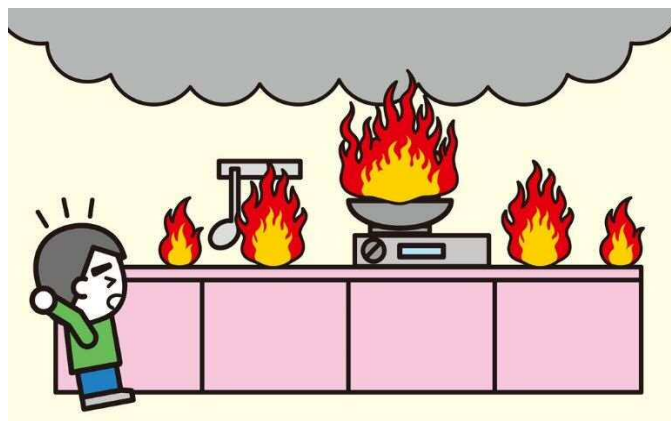
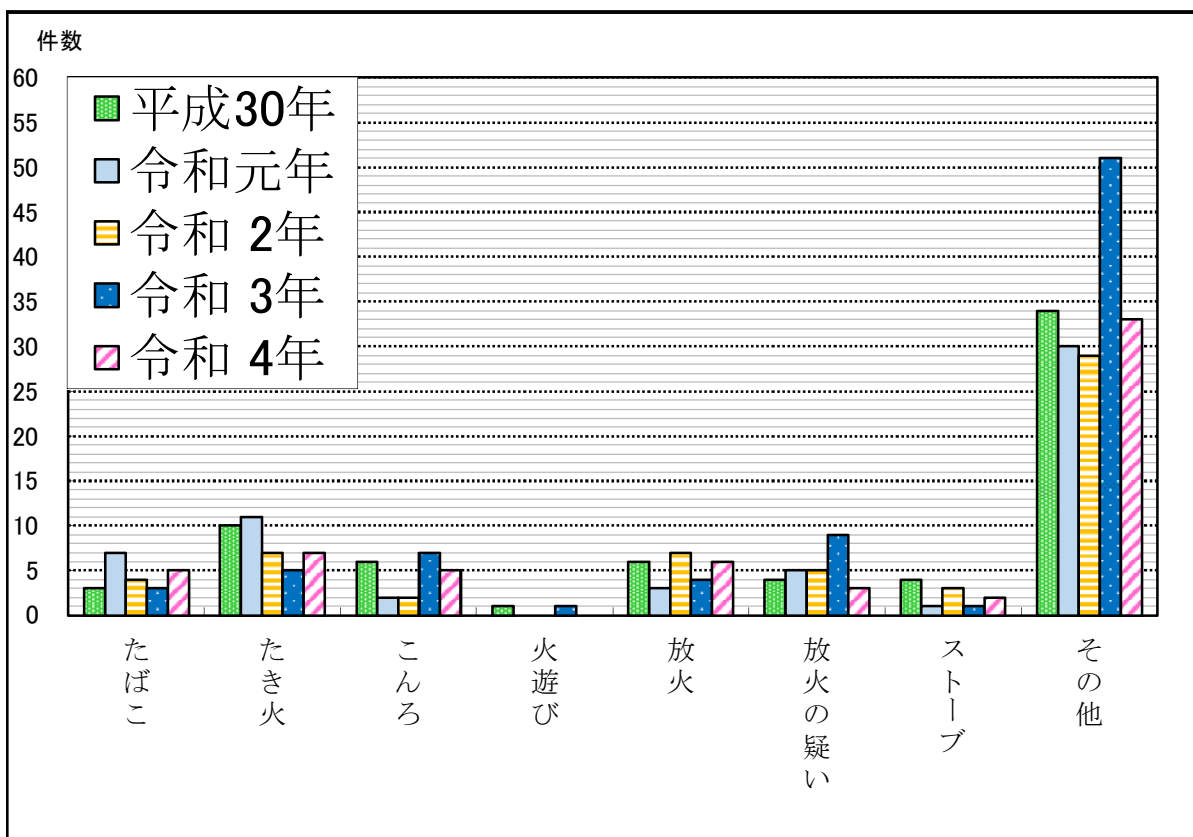
火災種別件数				焼損棟数 (棟)	り災 世帯数 (世帯)	死者 (人)	負傷者 (人)	建物焼損 床面積 (㎡)	建物焼損 表面積 (㎡)	その他 (㎡)	損害額 (千円)
合計	建物	車両	その他								
61	32	11	18	45	27	5	18	1,464	86	3,995	169,309



出火原因

(単位 件)

区分	合計	たばこ	たき火	こんろ	火遊び	放火	放火の疑い	ストーブ	その他
平成30年	68	3	10	6	1	6	4	4	34
令和元年	59	7	11	2		3	5	1	30
令和 2年	57	4	7	2		7	5	3	29
令和 3年	81	3	5	7	1	4	9	1	51
令和 4年	61	5	7	5		6	3	2	33



建物用途別・原因別件数

令和4年中

区分	合計	住宅火災				店舗	工場・作業場	飲食店	その他
		計	一般住宅	共同住宅	併用住宅				
合計	32	20	14	5	1	2	5		5
たばこ	4	2		2		2			
たき火	2	1	1						1
こんろ	5	5	5						
火遊び									
放火	1	1	1						
放火の疑い									
ストーブ	2	2	1		1				
電気機器	3	2	2						1
配線器具	4	2	2				1		1
電灯・電話等の配線	1								1
その他	7	2	1	1			4		1
不明	3	3	1	2					

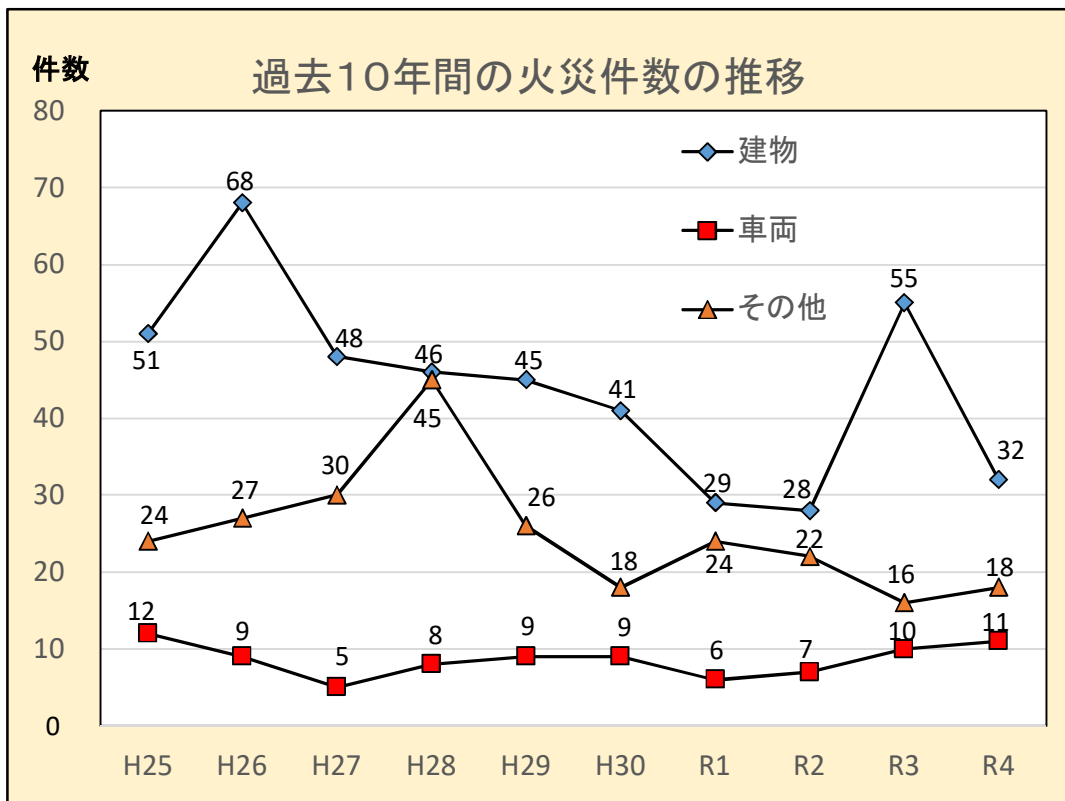
連区・月別の火災件数

区 分	種 別 件 数					り 災 棟 数				り 災 世 帯			
	合 計	建 物		車 両	そ の 他	全 焼	半 焼	部 分 焼	ぼ や	全 損	半 損	小 損	り 災 人 員
		延 焼	不 延 焼										
合 計	61	5	27	11	18	8	2	18	17	8		19	60
宮 西	1		1						1			1	1
貴 船													
神 山	2		2					1	1				
大 志	2	1	1			1	2	2	1	2		1	3
向 山	1		1					1				1	1
富 士	3		2	1				2				1	1
葉 栗	4	1	2	1		1		2		1		3	7
西 成	5		3	1	1				3			3	9
丹 陽 町	7		2	2	3				2			1	3
浅 井 町	2	1			1	1		2		1			2
北 方 町	1		1					1					
大 和 町	7		2	3	2			1	1	1		1	2
今 伊 勢 町	3		3						3			2	6
奥 町	2	1	1			3		2	1	2		2	11
萩 原 町	5				5								
千 秋 町	4			1	3								
起													
小 信 中 島	1		1						1			1	5
三 条	1				1								
大 徳													
朝 日	3		1		2			1					
開 明	1		1						1			1	4
木 曾 川 町	6	1	3	2		2		3	2	1		1	5
1 月	7	1	3	1	2	1	2	3	2	2		4	11
2 月	6	1	2		3			2	1	1		4	9
3 月	5		3	1	1	1		1	1			1	1
4 月	4		1	1	2				1			1	4
5 月	5	1	1	3		1		2	2	1			4
6 月	2		1	1				1				1	1
7 月	4		3	1		1			2	1			2
8 月	3		1		2				1			1	2
9 月	7		6	1		1		2	3			2	8
10月	9		3	1	5			2	1	1		1	2
11月	5		1	1	3				1			1	3
12月	4	2	2			3		5	2	2		3	13

死傷者		焼損面積(m ²)			損害額(千円)						火災一件当たりの損害額(千円)
死	傷	床面積	表面積	その他	合計	建物	収容物	車両	その他	爆発	
5	18	1,464	86	3,995	169,309	127,285	37,552	4,412	60		2,776
					132	130	2				132
	1	9			2,452	1,821	631				1,226
	2	252	8		5,184	4,788	316	80			2,592
1		3			396	392	4				396
	1		17		233	82	1	150			78
2	1	460	19	2	103,787	75,777	27,902	108			25,947
	2			110	78		11	67			16
				729	3,821	7	3,500	314			546
		84	20		4,623	4,320	298		5		2,312
		14			1,957	1,622	335				1,957
		26	1	1,470	5,951	2,281	38	3,617	15		850
	1				5		5				2
1		420	1		33,555	31,170	2,355		30		16,778
				14	2				2		
				1,330	40			40			10
	1										
					3				3		3
	2	5		105	800	518	282				267
	2				15		15				15
1	5	191	20	235	6,275	4,377	1,857	36	5		1,046
1	4	255	7		6,603	5,179	335	1,086	3		943
1	4	55	17	20	7,082	7,017	65				1,180
		27		235	2,287	1,921	352	14			457
1	1			34	121		11	108	2		30
1	4	172	19		8,452	3,417	4,654	376	5		1,690
	1		2	6	2,630	3	1	2,611	15		1,315
		162			13,605	12,405	1,050	150			3,401
	1			4							
	2	416	16		98,263	70,132	28,131				14,038
	1	35	1	1,545	4,643	4,102	474	67			516
				2,151	7	7					1
1		342	24		25,616	23,102	2,479		35		6,404

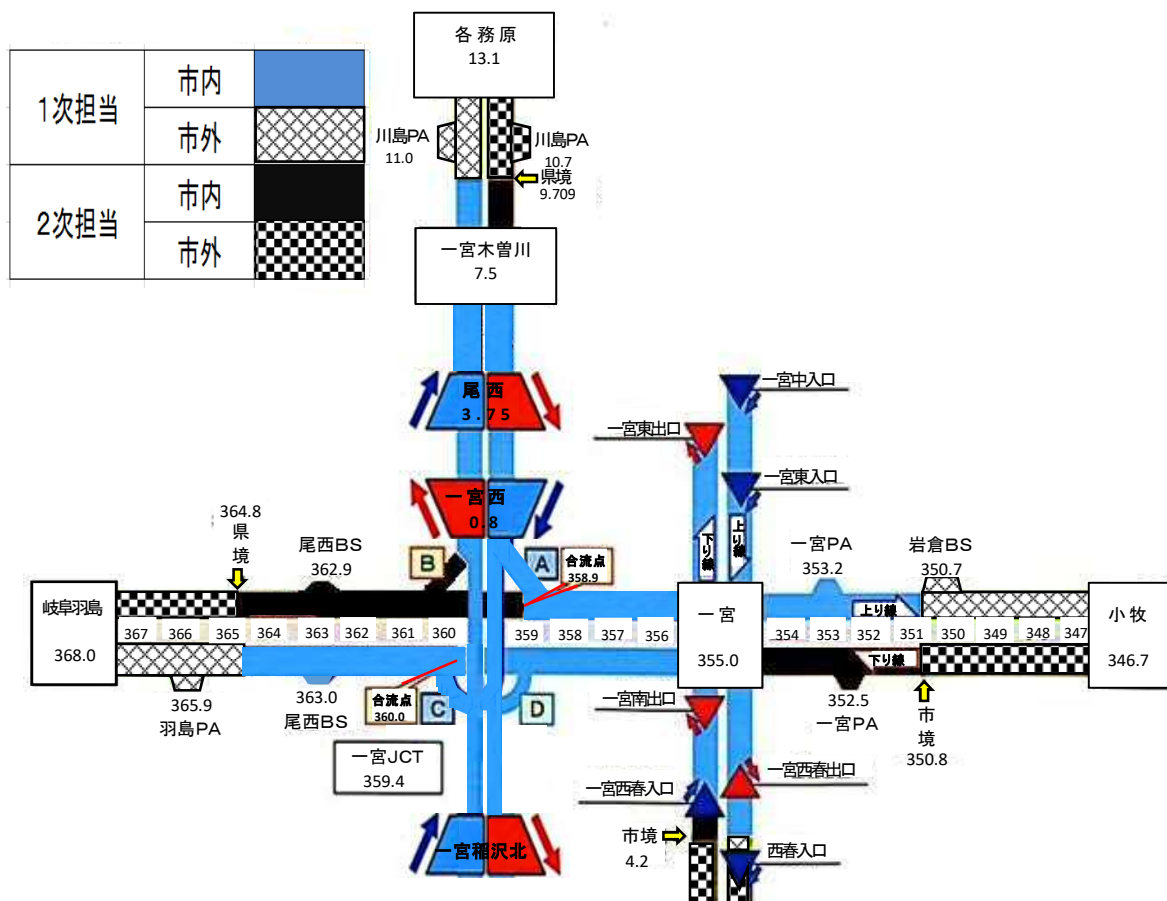
過去10年間の火災発生件数

区分	火災件数				焼損床面積 (㎡)	死傷者		損害額 (千円)
	合計	建物	車両	その他		死者	傷者	
平成25年	87	51	12	24	3,307	3	6	201,673
平成26年	104	68	9	27	4,255	5	13	248,407
平成27年	83	48	5	30	1,800	5	9	87,236
平成28年	99	46	8	45	814	3	16	55,087
平成29年	80	45	9	26	1,574	2	13	96,788
平成30年	68	41	9	18	2,579	4	10	365,878
令和元年	59	29	6	24	1,993	1	8	196,002
令和2年	57	28	7	22	4,720	2	8	792,224
令和3年	81	55	10	16	2,755	3	15	190,252
令和4年	61	32	11	18	1,464	5	18	169,309



高速道路の火災

令和3年3月28日に東海北陸自動車道一宮稲沢北インターチェンジが開通し、本市の高速道路における担当区域は、下図に示すとおりとなりました。



<過去10年間の出動件数>

区分	H25年	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年	R1年	R2年	R3年	R4年
計	1	2(1)	1	4(3)	2(1)	2	2(1)	2	3	5
車両	1	2(1)	1	4(3)	2(1)	2	2(1)	2	3	5
その他										

※()内は管轄外出動で内数で記載



警 防

消防車両の配置状況

消防本部・消防署

令和5年4月1日現在

区 分		車 両			
一 宮 消 防 署	本 部 ・ 本 署	指令車	2台	救助工作車	1台
		指揮車	1台	救助資機材搬送車	1台
		水槽付消防ポンプ自動車	3台	高規格救急自動車	2台
		はしご付消防自動車	1台	広報車	10台
		支援車	1台	搬送車	1台
	浅井・西成消防出張所	水槽付消防ポンプ自動車	1台	高規格救急自動車	1台
		消防ポンプ自動車	1台		
	千 秋 消 防 出 張 所	水槽付消防ポンプ自動車	1台	高規格救急自動車	1台
		消防ポンプ自動車	1台		
	分 署	大 和 消 防 出 張 所	指令車	1台	広報車
水槽付消防ポンプ自動車			1台	搬送車	1台
高規格救急自動車			1台		
丹 陽 消 防 出 張 所		水槽付消防ポンプ自動車	1台	高規格救急自動車	1台
尾 西 消 防 署	尾 西 消 防 署	指令車	1台	はしご付消防自動車	1台
		指揮車	1台	高規格救急自動車	2台
		水槽付消防ポンプ自動車	2台	広報車	4台
		化学消防ポンプ自動車	1台	搬送車	1台
	萩原消防出張所	水槽付消防ポンプ自動車	1台	高規格救急自動車	1台
		消防ポンプ自動車	1台		
	今伊勢・奥消防出張所	水槽付消防ポンプ自動車	1台	高規格救急自動車	1台
木 曾 川 消 防 署	木 曾 川 消 防 署	指令車	1台	高規格救急自動車	2台
		水槽付消防ポンプ自動車	2台	広報車	2台
		救助工作車	1台	搬送車	1台
	葉 栗 消 防 出 張 所	水槽付消防ポンプ自動車	1台	高規格救急自動車	1台
	北 方 消 防 出 張 所	水槽付消防ポンプ自動車	1台		

災害種別の出動状況

令和4年中

区 分		出動件数(件)	出動車両数(台)	出動人員(人)
合 計(1)+(2)+(3)		3,921	4,442	15,490
小 計(1)		61	351	1,209
火 災	建 物 火 災	30	258	883
	高 層 火 災	2	26	92
	車 両 火 災	6	14	48
	そ の 他 の 火 災	18	30	104
	地 下 火 災			
	特 殊 車 両 火 災			
	航 空 機 火 災			
	指 定 建 物 火 災			
	危 険 物 施 設 火 災			
	高速自動車道	車 両 火 災	5	23
特殊車両火災				
その他の火災				
小 計(2)		101	164	573
警 戒	特 別 ガ ス 漏 れ			
	ガ ス 漏 れ	7	30	106
	怪 煙	9	18	61
	漏 油	67	70	243
	火 災 警 戒	9	27	102
	そ の 他	9	19	61
小 計(3)		3,759	3,927	13,708
焼 損 事 故		14	79	258
誤 報		13	106	351
虚 報				
応 援 (火 災 ・ 警 戒)		6	10	34
救 急 支 援		3,726	3,732	13,065

月別庁外業務活動状況

令和4年中

業務種別	合計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
合計	34,552	2,809	2,741	2,979	2,655	2,829	2,858	3,119	3,238	2,711	2,683	2,751	3,179	
災害出動	火災出動	61	7	6	5	4	5	2	4	3	7	9	5	4
	救急出動	19,483	1,615	1,492	1,551	1,432	1,476	1,573	1,821	1,909	1,596	1,537	1,544	1,937
	救急支援	3,726	350	329	329	257	250	270	308	381	270	273	301	408
	救助出動	243	19	18	23	17	29	23	29	19	17	12	13	24
	警戒出動	101	6	2	6	7	10	14	7	10	12	6	7	14
	捜索活動													
	応援出動	6	1	2	1	1	1							
	誤報等出動	13	3	1	2		2			2		3		
焼損事故	14		1	1	1	2			1	2	2	1	3	
火災調査	61	7	6	5	4	5	2	4	3	7	9	5	4	
演習・訓練	署所訓練	6,797	485	430	450	670	793	716	599	589	538	541	533	453
	全署訓練	38	1		1	2	7	6		5	2	5	4	5
	合同訓練	8	1				1	1				1	2	2
広報・指導	消火器取扱訓練	36				1	3	5	2	3	3	7	9	3
	予防広報	331		1	79				80	100			71	
	その他	15		3						8		1	3	
特別警戒	警戒巡回	17	3	1			3		3		7			
	行催事警戒	5					2		1			2		
防調査	消防水利調査	462	25	42	68	31	61	45	40	33	33	35	22	27
	防火井戸性能試験	185			93	92								
	空地等調査	241	60	26	23							46	54	32
	広聴調査	335	36	21	17	29	21	25	25	25	24	41	35	36
	対象物調査	14	2	3	3	2				1	2		1	
	その他	28	1	1	1			4	4	15	1			1
予防査察	635	52	47	74	2	6	31	73	28	70	82	48	122	
その他	街頭消火器点検	357	12	26	21	27	29	24	21	42	34	23	42	56
	消防防災施設点検	213	10	13	13	13	13	13	16	23	51	13	11	24
	救命講習・救急法指導	360	19	10	3	16	62	61	39	28	33	30	38	21
	消防団訓練指	146	1			47	46	42	1	1	1	4	1	2
	その他	621	93	260	210		2	1	42	9	1	1	1	1

消防活動用資器材の配置

令和5年4月1日現在

	区 分	合 計	配 置 場 所											
			本 署	浅井・西成	千 秋	分 署	大 和	丹 陽	尾 西	萩 原	今伊勢・奥	木 曾 川	北 方	葉 栗
一 般 救 助 器 具	かぎ付はしご	4	2							1		1		
	三連はしご	21	4	2	1	1	1	1	3	1	2	3	1	1
	金属製折りたたみはしご 又はワイヤーはしご	5			1		1	1		1		1		
	空気式救助マット	2	1									1		
	救命索発射銃	2	1									1		
	サバイバースリング 又は救助用縛帯	48	10	4	4	2	2	2	5	4	4	7	2	2
	平担架	4	2									2		
重 量 物 排 除 器 具	油圧ジャッキ	2	1									1		
	油圧スプレッダ(大型含む)	4	2						1			1		
	マンホール救助器具	2	1									1		
	救助用支柱器具一式	1	1											
	可搬ウインチ	5	2		1							2		
	マット型空気ジャッキ一式	2	1									1		
破 壊 ・ 切 断 器 具	エンジンカッター	8	3			1				2		2		
	油圧切断機(大型含む)	6	3							1		2		
	空気鋸	5	3									2		
	空気切断機	4	2									2		
	ガス溶断器	2	1									1		
	チェーンソー	2	1									1		
	鉄線鋏(カッター)	55	9	4	4	3	3	3	8	4	5	8	1	3
	万能斧	48	11	5	3	2	3	4	5	2	3	6	2	2
	携帯用コンクリート破壊器具	2	1									1		
	削岩機	2	1									1		
ハンマドリル	2	1									1			
検 用 器 具 ・ 測 定	放射線測定器	41	21						10			10		
	可燃性ガス測定器	24	5	2	2	1	1	1	3	2	2	3	1	1
	有毒ガス測定器	2	1									1		
隊 員 保 護 器 具 ・ 除 染 器 具 (N B C 対 策)	防毒マスク	20	15									5		
	化学防護服	60	30						10			20		
	陽圧式化学防護服	10	5									5		
	放射線防護服	6	3									3		
	除染シャワー	2	1									1		

令和5年4月1日現在

	区 分	合 計	配 置 場 所											
			本 署	浅井・西成	千 秋	分 署	大 和	丹 陽	尾 西	萩 原	今伊勢・奥	木曾川	北 方	葉 栗
水難器具	潜水器具一式	10										10		
	救命胴衣	325	77	16	12	24	12	16	42	16	16	66	12	16
	水中投光器	10										10		
	救命浮環	40	7	3	3	2	2	2	6	3	3	6	1	2
	浮標	3							1			2		
	救命ボート	31	6	2	1	3	1	2	4	2	2	4	2	2
	船外機	9	3						3			3		
呼吸保護器具	空気呼吸器	102	21	8	8	4	4	4	16	8	8	13	4	4
	防塵マスク	116	31	9	7	4	4	5	19	7	9	12	4	5
	送排風機	2	1									1		
	酸素呼吸器	10	5									5		
	簡易呼吸器	5	2									3		
隊員保護器具	防塵メガネ	107	20	7	7	7	7	7	15	7	7	12	4	7
	耐電手袋	14	7						2			5		
	耐電衣	4	2									2		
	耐電ズボン	4	2									2		
	耐電長靴	8	4						2			2		
	携帯警報器	102	21	8	8	4	4	4	16	8	8	13	4	4
	耐熱服	11	3						5			3		
その他・山岳救助器具	投光器一式	32	9	2	2	1	1	1	6	2	2	4	1	1
	携帯投光器	167	35	11	12	10	8	10	23	12	11	22	4	9
	緩降機	1	1											
	バスケット担架	4	2						1			1		
	応急処置用セット	34	5	3	3	2	2	2	4	3	3	4	1	2
	簡易画像探索機	2	1									1		
	加圧排煙機	2	1									1		
	エアーテント	4	2						1			1		
高度救助用器具	画像探索機	1	1											
	地中音響探知機	1	1											
	熱画像直視装置	3	2						1					
	夜間用暗視装置	1	1											
	地震警報器	1	1											

消防水利の現況

令和5年4月1日現在

区 分	合 計	公 設						私 設				そ の 他				
		小 計	消 火 栓	防 火 井 戸	防 火 水 槽			小 計	消 火 栓	防 火 井 戸	防 火 水 槽		小 計	プ ール	貯 水 池	そ の 他
					40 ³ m ³ 未 満	40 ³ ~ 100 ³ m ³ 未 満	100 ³ m ³ 以 上				40 ³ ~ 100 ³ m ³ 未 満	100 ³ m ³ 以 上				
合 計	5,186	5,061	4,076	602	5	357	22	46	2	4	28	12	79	75	1	3
	3,614	3,573	3,037	153	4	357	22	41	1		28	12				
宮 西	151	148	133	5	1	6	3	1			1		2	2		
	121	120	110	1		6	3	1			1					
貴 船	133	131	128	1		1	1	1			1		1	1		
	117	116	114			1	1	1			1					
神 山	193	188	168	11		7	2	2			2		3	3		
	171	169	155	5		7	2	2			2					
大 志	97	96	88	1		4	3						1	1		
	94	94	87			4	3									
向 山	102	100	90	7		3							2	2		
	79	79	72	4		3										
富 士	151	150	139	6		4	1						1	1		
	136	136	128	3		4	1									
葉 栗	283	275	219	36		20		3			1	2	5	5		
	217	214	175	19		20		3			1	2				
西 成	498	487	384	53	1	48	1	1			1		10	10		
	384	383	307	26	1	48	1	1			1					
丹 陽 町	387	379	342	26		11		3			3		5	4	1	
	264	261	241	9		11		3			3					
浅 井 町	270	266	201	37		27	1						4	4		
	192	192	159	5		27	1									
北 方 町	151	149	111	8	1	29							2	2		
	120	120	90		1	29										
大 和 町	471	456	366	51		37	2	8		1	6	1	7	7		
	327	320	267	14		37	2	7			6	1				
今伊勢町	193	183	150	20	1	12		7			4	3	3	3		
	131	124	106	5	1	12		7			4	3				
奥 町	143	135	111	7		16	1	3			3		5	2		3
	72	69	52			16	1	3			3					
萩 原 町	344	338	267	55		15	1	2		1		1	4	4		
	234	233	199	18		15	1	1				1				
千 秋 町	309	299	243	31		25		3		2	1		7	7		
	230	229	191	13		25		1			1					
起	61	59	43	13		2	1	1				1	1	1		
	34	33	30			2	1	1				1				
小信中島	131	129	92	34		2	1						2	2		
	61	61	52	6		2	1									
三 条	184	180	128	45		4	3	2				2	2	2		
	94	92	84	1		4	3	2				2				
大 徳	126	124	95	26		3		1				1	1	1		
	49	48	43	2		3		1				1				
朝 日	329	325	236	84		5							4	4		
	119	119	98	16		5										
開 明	119	115	95	19		2		1			1		3	3		
	72	71	68	1		2		1			1					
木曾川町	360	349	247	26	1	74	1	7	2		4	1	4	4		
	296	290	209	5	1	74	1	6	1		4	1				

(備考) 下段は消防水利基準に該当するもの

応援協力計画

大規模な災害または特殊な災害が発生し、本市の消防力だけでは対処不可能な場合には関係協力機関に応援協力を要請し、消防隊の効率的な運用によりの確な災害活動を行い、被害を最小限に防止するため一宮市消防本部は、様々な応援協定等を締結しています。

令和5年4月1日現在

応援協定等	
1	大規模災害消防応援実施計画(全国消防長会)
2	愛知県内広域消防相互応援協定
3	愛知県消防広域応援基本計画
4	愛知県消防活動等援助要綱
5	愛知県緊急消防援助隊受援計画
6	愛知県下高速道路における消防相互応援協定
7	高速道路における消防相互応援協定(名神)
8	高速道路における消防相互応援協定(東海北陸)
9	愛知県における航空機を用いた市町村等の消防支援協定
10	名古屋市航空機隊支援出動要請要領
11	ドクターヘリコプター運航要領
12	尾張西北部地区消防相互応援協定
13	木曽川流域消防相互応援協定
14	大規模特殊災害時における広域航空消防応援実施要綱
15	消防相互応援協定(岐阜県各務原市)
16	航空事故に伴う災害発生時の連絡調整に関する協定
17	航空事故及び航空事故に伴う災害が発生した場合の連絡調整に関する協定
18	災害活動の協力に関する協定(重機)
19	都市ガス災害対策に関する業務協約
20	LPガス災害対策に関する業務協約
21	災害時における消防用水等の確保に関する協定
22	医師等の出動要請に関する協定書(ドクターカー)



緊急消防援助隊

【緊急消防援助隊とは】

・緊急消防援助隊とは、阪神・淡路大震災での教訓(人命救助活動を行う応援部隊の早期出動の必要性等)を踏まえ、平成7年度に創設されました。国内で発生した大規模災害や特殊災害時に、被災地の消防機関では対処できない場合、被災地からの要請を受け、各都道府県の消防本部から、人命救助活動等を行うために被災地へ駆け付ける応援部隊の事です。

【一宮市消防本部の登録車両等】

令和5年4月1日現在

小隊種別	隊数	車両種別:台数
消火小隊	6隊	化学消防ポンプ自動車:1台 水槽付消防ポンプ自動車:5台
救助小隊	1隊	救助工作車Ⅱ型:1台
救急小隊	2隊	高規格救急車:2台
後方支援小隊	1隊	資機材搬送車:1台
特殊装備小隊	2隊	はしご自動車:2台
その他	1艇	高機能救命ボート:1艇

【一宮市消防本部の派遣実績】

●平成16年 7月福井豪雨

・平成16年7月17日から18日にかけて発生した豪雨により、福井県全域に被害が出たため、平成16年7月18日から19日までの間、緊急消防援助隊愛知県大隊として福井県に派遣隊1隊(5名)を派遣しました。

区分	派遣期間	派遣隊	派遣人員	活動場所及び活動内容
第1次隊	7/18~7/19	消火小隊	5名	福井県福井市西木田地区で検索救護

●平成23年 東日本大震災

・平成23年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震の津波の影響により、東北地方各地に被害が出たため、平成23年3月12日から4月24日までの間に、緊急消防援助隊愛知県大隊として宮城県に派遣隊29隊(103名)を派遣しました。

区分	派遣期間	派遣隊	派遣人員	活動場所及び活動内容
第2次隊	3/12~3/15	消火小隊 救助小隊 後方支援小隊	12名	宮城県亶理郡亶理町及び山元町で搜索
第3次隊	3/13~3/16	救助小隊 後方支援小隊	7名	宮城県亶理郡亶理町及び山元町で搜索
第5次隊	3/17~3/22	救助小隊 後方支援小隊	7名	宮城県亶理郡亶理町及び山元町で搜索
第6次隊	3/20~3/25	救助小隊 後方支援小隊	7名	宮城県亶理郡亶理町で搜索
第7次隊	3/23~3/28	救助小隊 後方支援小隊	7名	宮城県亶理郡亶理町で搜索
第8次隊	3/26~3/30	救助小隊 後方支援小隊	7名	宮城県亶理郡亶理町で搜索
第9次隊	3/29~4/3	救助小隊 後方支援小隊	7名	宮城県亶理郡亶理町で搜索
第10次隊	4/1~4/6	救助小隊 後方支援小隊	7名	宮城県亶理郡亶理町で搜索
第11次隊	4/4~4/9	救助小隊 後方支援小隊	7名	宮城県亶理郡亶理町で搜索
第12次隊	4/7~4/12	救助小隊 後方支援小隊	7名	宮城県亶理郡亶理町で搜索
第13次隊	4/10~4/15	救助小隊 後方支援小隊	7名	宮城県亶理郡亶理町で搜索
第14次隊	4/13~4/18	救助小隊 後方支援小隊	7名	宮城県亶理郡亶理町で搜索
第15次隊	4/16~4/21	救助小隊 後方支援小隊	7名	宮城県亶理郡亶理町で搜索
第16次隊	4/19~4/24	救助小隊 後方支援小隊	7名	宮城県亶理郡亶理町で搜索

第1・4次隊の派遣については、本市消防本部該当なし

●平成26年 御嶽山噴火災害

・平成26年9月27日に発生した御嶽山噴火に伴う救助活動のため、緊急消防援助隊愛知県大隊として長野県王滝村に派遣隊3隊(15名)を派遣しました。

区分	派遣期間	派遣隊	派遣人員	活動場所及び活動内容
第11次隊	10/4～10/7	救助小隊	5名	御岳剣ヶ峰山荘売店付近の搜索
第20次隊	10/11～10/12	救助小隊	5名	御嶽神社頂上奥社及び頂上山荘周辺の搜索
第24次隊	10/16～10/17	救助小隊	5名	派遣期間中に搜索中止が決定

※ 第11・20・24次隊以外の派遣については、本市消防本部該当なし

●平成30年 7月豪雨

・平成30年6月28日から7月8日にかけて、西日本を中心とした全国的に広範囲な集中豪雨が発生、河川の氾濫や浸水害のため、緊急消防援助隊愛知県大隊として岡山県倉敷市真備町に派遣隊2隊(8名)を派遣しました。

区分	派遣期間	派遣隊	派遣人員	活動場所及び活動内容
第1次隊	7/7～7/8	救急小隊	3名	小田川北面冠水地区にて、トリアージ活動
第2次隊	7/7～7/10	救助小隊	5名	真備町冠水地区にて、救命ボートで救出活動

●令和3年 静岡県熱海市土石流災害

・令和3年7月3日梅雨前線に伴う豪雨により、静岡県熱海市伊豆山地区の逢初川で土石流が発生、多くの人的、物的被害が出たため、緊急消防援助隊愛知県大隊として静岡県熱海市に派遣隊3隊(15名)を派遣しました。

区分	派遣期間	派遣隊	派遣人員	活動場所及び活動内容
第1次隊	7/10～7/13	消火小隊	5名	熱海市伊豆山地区で行方不明者の搜索及び救助活動
第2次隊	7/13～7/16	消火小隊	5名	熱海市伊豆山地区で行方不明者の搜索及び救助活動
第3次隊	7/16～7/19	消火小隊	5名	熱海市伊豆山地区で行方不明者の搜索及び救助活動

〈活動写真〉



浜松SAに集結した愛知県大隊



伊豆山地区の土砂災害状況



建物内に入った土砂を取り除く隊員

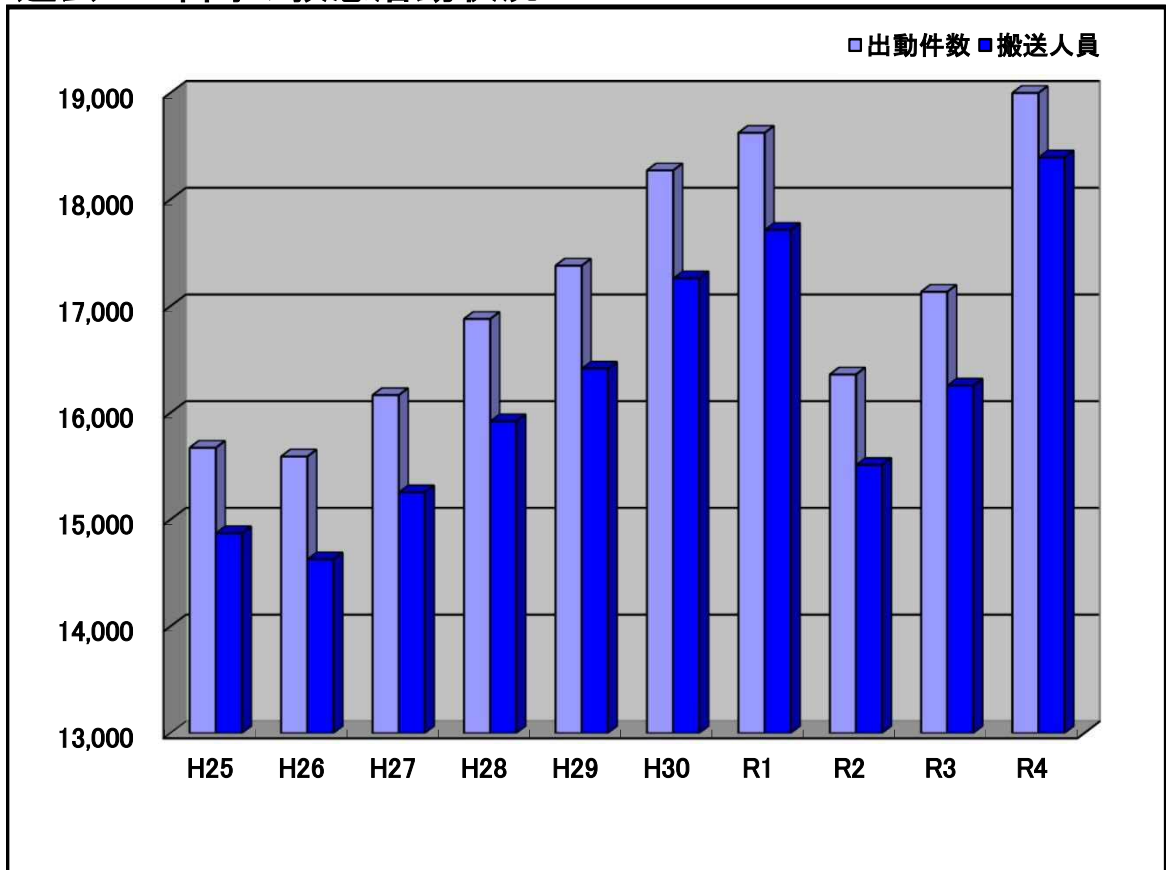


土砂に埋まりながら搜索活動をする隊員

救急・救助



過去10年間の救急活動状況



区分	(上段) 出動件数 / (下段) 搬送人員											
	合計	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他
H25	15,674	63		6	1,812	147	128	1,914	76	153	10,380	995
	14,874	8		3	1,902	147	132	1,836	74	107	9,883	782
H26	15,592	71	2	4	1,747	154	111	1,923	60	142	10,289	1,089
	14,629	14	2		1,834	154	115	1,844	55	101	9,700	810
H27	16,167	50	1	8	1,615	184	131	2,080	66	139	10,669	1,224
	15,257	6	1	2	1,716	180	131	1,995	57	109	10,109	951
H28	16,882	60		6	1,654	140	128	2,211	56	142	11,191	1,294
	15,923	16		1	1,732	137	131	2,132	46	106	10,591	1,031
H29	17,381	71	1	4	1,699	149	113	2,274	63	138	11,554	1,315
	16,416	13	1		1,782	144	113	2,183	55	106	10,985	1,034
H30	18,274	51	7	3	1,511	175	138	2,349	60	121	12,448	1,411
	17,262	9	7		1,551	174	141	2,272	49	88	11,875	1,096
R1	18,626	54		6	1,498	166	125	2,411	51	132	12,798	1,385
	17,716	9		1	1,523	165	126	2,347	48	94	12,313	1,090
R2	16,361	53		7	1,234	144	83	2,372	37	127	11,021	1,283
	15,513	8			1,278	142	83	2,304	35	97	10,554	1,012
R3	17,136	64		11	1,241	125	86	2,415	37	141	11,653	1,363
	16,257	12		1	1,284	123	87	2,341	36	109	11,161	1,103
R4	19,483	39		2	1,213	120	102	2,663	44	148	13,710	1,442
	18,396	13			1,211	119	103	2,577	36	115	13,086	1,136

曜日・月別救急出動件数

令和4年中

事故種別 区分	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他				合計	
											転院搬送	医師搬送	資機材等輸送	その他		
曜日別	月	5			164	18	7	370	4	30	2,142	211	3	18	17	2,989
	火	3			165	25	9	360	5	19	1,823	176	1	12	29	2,627
	水	7			186	22	9	381	3	16	1,942	178	2	12	27	2,785
	木	4		1	183	21	8	369	7	26	1,877	161	2	17	30	2,706
	金	4			197	20	10	394	9	24	1,999	207	5	12	23	2,904
	土	9			179	10	27	410	10	17	1,944	140	1	13	31	2,791
	日	7		1	139	4	32	379	6	16	1,983	67	1	15	31	2,681
合計	39		2	1,213	120	102	2,663	44	148	13,710	1,140	15	99	188	19,483	
月別	1月	2			76	9	3	241	4	17	1,168	80		2	13	1,615
	2月	4			64	9	3	210	5	6	1,093	80		8	10	1,492
	3月	4			100	13	5	192	4	22	1,094	94	1	8	14	1,551
	4月	1			92	5	9	186	7	8	1,017	83	2	12	10	1,432
	5月	8			119	7	10	197	2	14	1,000	98	2	4	15	1,476
	6月	2		1	116	11	14	222	5	20	1,048	98	2	11	23	1,573
	7月	2		1	102	13	16	240	5	9	1,305	93	1	9	25	1,821
	8月	1			84	11	4	223	4	13	1,447	94	2	9	17	1,909
	9月	7			99	15	14	208	2	11	1,114	100		7	19	1,596
	10月	2			113	11	10	236	2	15	1,028	95	1	11	13	1,537
	11月				136	5	7	222	3	4	1,040	104	1	11	11	1,544
	12月	6			112	11	7	286	1	9	1,356	121	3	7	18	1,937

曜日・月別救急搬送人員

令和4年中

事故種別 区分		火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	合計
		曜日別	月	2			170	18	7	353	4	26	2,043
	火				162	25	8	351	5	13	1,736	174	2,474
	水	1			186	22	9	361	3	14	1,854	177	2,627
	木	1			179	20	9	353	4	20	1,791	162	2,539
	金	1			195	20	11	379	9	17	1,909	207	2,748
	土	3			177	10	27	402	7	11	1,852	139	2,628
	日	5			142	4	32	378	4	14	1,901	67	2,547
合計		13			1,211	119	103	2,577	36	115	13,086	1,136	18,396
月別	1月	3			76	9	3	234	4	12	1,106	80	1,527
	2月	1			57	9	3	202	3	5	1,027	80	1,387
	3月				100	13	5	187	4	17	1,042	95	1,463
	4月				91	5	9	182	7	8	974	83	1,359
	5月	4			115	7	11	193	2	11	964	98	1,405
	6月	1			123	10	12	209	5	16	1,013	99	1,488
	7月				103	13	17	233	5	8	1,259	91	1,729
	8月	1			85	11	4	214	3	9	1,373	91	1,791
	9月	2			100	15	14	199	1	9	1,051	100	1,491
	10月	1			114	11	10	230		13	989	94	1,462
	11月				135	5	8	216	2	1	1,000	104	1,471
	12月				112	11	7	278		6	1,288	121	1,823

連区別救急出動件数

令和4年中

地区 事故種別	合計	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他			
												転院搬送	医師搬送	資機材等輸送	その他
合計	19,483	39		2	1,213	120	102	2,663	44	148	13,710	1,140	15	99	188
宮西	830	1			54	1	2	91	5	7	487	73		98	11
貴船	627				42	3	6	81	2	5	405	76		1	6
神山	972	2			62	3	4	152	2	7	717	7	1		15
大志	350	2			18	2	1	59	4	3	234	18			9
向山	412				21	3	3	57		2	290	31			5
富士	578	1			54	3	3	85	3	5	410	5			9
葉栗	883	4			54	3	23	116	1	7	653	9	1		12
西成	1,677	3			101	8	7	197	3	9	1,262	80			7
丹陽町	1,170	3			109	8	2	151	6	11	854	7			19
浅井町	1,076	1			52	10	5	166	4	5	762	65	1		5
北方町	383	1			19		1	64		1	290		1		6
大和町	1,995	5			136	12	5	284	1	15	1,485	34	1		17
今伊勢町	1,233	2			50	4	5	181		13	869	97	1		11
奥町	676	2			33	3	1	109	3	6	437	76			6
萩原町	1,028				62	15	4	149		4	774	14	1		5
千秋町	944				64	13	16	115	1	6	568	156	2		3
起	151				6	2		24	2		114				3
小信中島	523	1			34	2	2	69	3	3	389	17	1		2
三条	634				53	2	2	74	1	14	432	49	1		6
大徳	540			1	16	1	2	81		7	376	51			5
朝日	647	1			29	14	4	93	1	4	496	2			3
開明	530	1			43	5		50		3	309	115	2		2
木曾川町	1,531	8		1	97	3	4	210	2	11	1,062	110	2		21
管外	93	1			4			5			35	48			

連区別救急搬送人員

令和4年中

地区 事故種別	合計	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他
合計	18,396	13			1,211	119	103	2,577	36	115	13,086	1,136
宮西	694				53	1	1	87	4	7	468	73
貴船	590				39	3	6	79	2	5	380	76
神山	903	1			60	3	4	146	2	5	675	7
大志	319	1			17	2	1	54	4	1	221	18
向山	387				19	3	3	55			276	31
富士	540	1			56	3	3	83	3	4	382	5
葉栗	845	1			56	3	23	113	1	5	633	10
西成	1,612	1			105	8	8	194	2	6	1,208	80
丹陽町	1,064				101	8	2	142	3	9	792	7
浅井町	1,049				53	10	5	166	2	5	743	65
北方町	355				18		1	61		1	273	1
大和町	1,902				142	11	5	274	1	12	1,424	33
今伊勢町	1,162				51	4	4	173		8	825	97
奥町	645				31	3	1	108	3	6	417	76
萩原町	995				61	15	5	143		2	755	14
千秋町	909				62	13	16	110	1	5	548	154
起	140				5	2		24	1		108	
小信中島	505	1			36	2	2	68	3	3	373	17
三条	603				57	2	2	71	1	14	407	49
大徳	502				16	1	2	76		5	351	51
朝日	623				28	14	5	92	1	2	479	2
開明	518	2			46	5		48		2	301	114
木曾川町	1,441	5			92	3	4	205	2	8	1,014	108
管外	93				7			5			33	48

現場到着所要時間別救急出動件数

令和4年中

現場到着 所要時間 事故種別	3	3	5	10	20	合 計	現場到着 最短所要 時間(分)	現場到着 最長所要 時間(分)	現場到着 平均所要 時間(分)
	分 未 満	分 以 上 5 分 未 満	分 以 上 10 分 未 満	分 以 上 20 分 未 満	分 以 上				
合計	189	1,804	15,106	2,366	18	19,483	0	38	7.6
急病	66	1,248	10,863	1,527	6	13,710	0	28	7.4
交通事故	9	85	942	171	6	1,213	0	38	7.9
一般負傷	12	307	2,055	289		2,663	0	19	7.3
上記以外	102	164	1,246	379	6	1,897	0	25	7.8

病院収容所要時間別救急搬送人員

令和4年中

収容 所要時間 事故種別	10	10	20	30	60	120	合 計	収容 最短 所要 時間 (分)	収容 最長 所要 時間 (分)	収容 平均 所要 時間 (分)						
	分 未 満	分 以 上 20 分 未 満	分 以 上 30 分 未 満	分 以 上 60 分 未 満	分 以 上 120 分 未 満	分 以 上										
合計	3	1,755	22	11,149	258	5,375	486	108	56	6	3	18,396	825	5	215	28.0
急病	2	1,246	14	8,091	176	3,683	257	58	21	6	3	13,086	471	8	215	27.1
交通事故		102	2	653	12	453	33	3				1,211	47	11	62	28.4
一般負傷	1	239	6	1,579	35	754	57	4	2			2,577	100	5	63	27.2
上記以外		168		826	35	485	139	43	33			1,522	207	11	119	28.9

年齢区分・傷病程度別救急搬送人員

令和4年中

事故種別 区分		合計	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他
		合計	18,396	13			1,211	119	103	2,577	36	115	13,086
合計	死亡	330				5			17		15	293	
	重症	1,328	2			36	4		65		13	1,010	198
	中等症	6,532	3			178	40	13	837	6	28	4,643	784
	軽症	10,206	8			992	75	90	1,658	30	59	7,140	154
	その他												
新生児	小計	112										9	103
	死亡												
	重症	17											17
	中等症	78										3	75
	軽症	17										6	11
	その他												
乳幼児	小計	757				26			166	2		518	45
	死亡	2							1			1	
	重症	16				1			1			5	9
	中等症	189							8			150	31
	軽症	550				25			156	2		362	5
	その他												
少年	小計	659				133	1	80	78	3	7	340	17
	死亡												
	重症	12				2					1	7	2
	中等症	98				12		12	6		4	55	9
	軽症	549				119	1	68	72	3	2	278	6
	その他												
成人	小計	4,790	5			647	87	20	325	21	92	3,349	244
	死亡	35				2					11	22	
	重症	248	1			12	3		6		12	174	40
	中等症	1,035	1			67	25	1	70	4	19	690	158
	軽症	3,472	3			566	59	19	249	17	50	2,463	46
	その他												
高齢者	小計	12,078	8			405	31	3	2,008	10	16	8,870	727
	死亡	293				3			16		4	270	
	重症	1,035	1			21	1		58			824	130
	中等症	5,132	2			99	15		753	2	5	3,745	511
	軽症	5,618	5			282	15	3	1,181	8	7	4,031	86
	その他												

新生児 : 生後28日未満の者
 乳幼児 : 生後28日以上、満7歳未満の者
 少年 : 満7歳以上、満18歳未満の者
 成人 : 満18歳以上、満65歳未満の者
 高齢者 : 満65歳以上の者

救急高度化の推移

区 分	平成 30 年	令和 元年	令和 2 年	令和 3 年	令和 4 年
一 宮 市 人 口	385,777	385,160	384,790	383,582	381,366
救 急 出 動 件 数	18,274	18,626	16,361	17,136	19,483
人 口 1 万 人 当 た り の 出 動 件 数	474	484	425	447	511
救 急 救 命 士 数	87	90	91	96	99
気 管 挿 管 救 命 士 数	17	18	18	19	20
薬 剤 投 与 救 命 士 数	69	72	75	78	79
救 急 搬 送 人 員 (A)	17,262	17,716	15,513	16,257	18,396
心 肺 停 止 傷 病 者 搬 送 人 員 (B)	382	395	359	404	429
〔 救 急 隊 に よ り 心 肺 機 能 停 止 の 時 点 が 目 撃 さ れ た 心 肺 停 止 傷 病 者 搬 送 人 員 〕 (C)	(37)	(29)	(32)	(35)	(32)
バ イ ス タ ン ダ ー C P R 件 数 (D)	247	255	244	268	297
心 肺 停 止 傷 病 者 搬 送 率 % (B / A)	2	2	2	2	2
バ イ ス タ ン ダ ー C P R 実 施 率 % (D / B)	65	65	68	66	69
〔 救 急 隊 に よ り 心 肺 機 能 停 止 の 時 点 が 目 撃 さ れ た 心 肺 停 止 傷 病 者 を 除 く バ イ ス タ ン ダ ー C P R 実 施 率 % 〕 (D / (B - C))	(71.6)	(69.7)	(74.6)	(72.6)	(74.8)

一 宮 市 人 口 : 各年の4月1日現在

気 管 挿 管 救 命 士 : 医師の具体的指示下において気管挿管の処置を行うことができる救命士

薬 剤 投 与 救 命 士 : 医師の具体的指示下において薬剤投与の処置を行うことができる救命士

バ イ ス タ ン ダ ー C P R : 居合わせた人による心肺蘇生法等の一次救命処置
(胸骨圧迫、人工呼吸などが実施されていたもの)

救急隊員の行った応急処置等件数

令和4年中

区分	応急処置		止 血	固 定	人 工 呼 吸	心 肺 蘇 生	酸 素 吸 入	計	気道確保				
	対 象 人 数	件 数 合 計							※1	※2	※3	※4	
合計	合計	18,350	82,056	208	1,898	117	430	3,310	671	16	33	193	1
	死亡	330	1,651		16	17	306	319	307	5	19	146	
	重症	1,324	6,555	7	76	49	118	656	208	7	10	46	1
	中等症	6,505	29,937	41	679	48	6	1,800	133	4	2	1	
	軽症	10,191	43,913	160	1,127	3		535	23		2		
	その他												
急病	小計	13,078	58,408	65	294	104	370	2,675	575	14	18	175	
	死亡	293	1,475		7	15	271	285	272	5	13	134	
	重症	1,009	5,033	1	5	42	96	490	173	6	5	40	
	中等症	4,637	21,677	6	114	45	3	1,441	116	3		1	
	軽症	7,139	30,223	58	168	2		459	14				
	その他												
交通事故	小計	1,209	5,679	15	556	1	6	76	9			1	
	死亡	5	28		5		4	5	4			1	
	重症	36	235	4	32	1	2	27	4				
	中等症	178	887	4	95			23					
	軽症	990	4,529	7	424			21	1				
	その他												
一般負傷	小計	2,570	11,751	105	883	5	32	140	46	1	15	8	1
	死亡	17	74				16	16	16		6	5	
	重症	65	355	1	27	3	14	30	18	1	5	3	1
	中等症	837	3,903	22	387	1	2	68	6		2		
	軽症	1,651	7,419	82	469	1		26	6		2		
	その他												
上記以外	小計	1,493	6,218	23	165	7	22	419	41	1		9	
	死亡	15	74		4	2	15	13	15			6	
	重症	214	932	1	12	3	6	109	13			3	
	中等症	853	3,470	9	83	2	1	268	11	1			
	軽症	411	1,742	13	66			29	2				
	その他												

- ※1 経鼻エアウェイを使用しての気道確保
- ※2 喉頭鏡・鉗子等による異物除去
- ※3 救急救命士法に基づき重度傷病者に対して行う救急救命処置のうち、
ラリゲアルマスク等を使用しての気道確保
- ※4 気管挿管による気道確保

区分		保	被	在	除	静	血	心	血	心	血	エ	ブ	薬	そ
		温	覆	宅療法	細動	脈路確保	圧測定	音・呼吸音	中酸素飽和度	電 図	糖測定	ピペン投与	ドウ糖投与	剤投与	の他
合計	合計	212	828	174	36	106	17,437	4,046	17,860	16,683	94	3	11	33	17,899
	死亡	6		4	19	21	45	28	45	303				16	199
	重症	46	19	18	17	33	1,199	343	1,224	1,269	19	1	1	10	1,242
	中等症	82	136	116		44	6,322	1,623	6,475	6,022	51	2	4	4	6,349
	軽症	78	673	36		8	9,871	2,052	10,116	9,089	24		6	3	10,109
	その他														
急病	小計	163	64	155	34	98	12,467	3,333	12,696	12,324	94	3	11	29	12,854
	死亡	5		4	18	21	43	26	43	270				16	179
	重症	39	4	15	16	29	923	282	927	993	19	1	1	7	970
	中等症	69	20	106		40	4,557	1,430	4,620	4,447	51	2	4	4	4,602
	軽症	50	40	30		8	6,944	1,595	7,106	6,614	24		6	2	7,103
	その他														
交通事故	小計		149				1,183	333	1,199	965					1,187
	死亡						1	1	1	4					3
	重症		4				34	22	34	35					36
	中等症		23				177	53	178	159					175
	軽症		122				971	257	986	767					973
	その他														
一般負傷	小計	19	530	12	1	6	2,443	270	2,502	2,221				3	2,533
	死亡				1					17					8
	重症	4	8	1		3	56	13	56	62				2	57
	中等症	5	69	6		3	830	85	831	761					827
	軽症	10	453	5			1,557	172	1,615	1,381				1	1,641
	その他														
上記以外	小計	30	85	7	1	2	1,344	110	1,463	1,173				1	1,325
	死亡	1					1	1	1	12					9
	重症	3	3	2	1	1	186	26	207	179				1	179
	中等症	8	24	4		1	758	55	846	655					745
	軽症	18	58	1			399	28	409	327					392
	その他														

高速道路の救急活動状況

令和4年中

区	分	合計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
出 動 件 数	合 計	51	4		1	2	5	6	7	6	3	3	5	9	
	事故種別	火 災	5			1		2	1			1			
		急 病	14	2			1	2	1	1	4		1		2
		交通事故	32	2			1	1	4	6	2	2	2	5	7
		上記以外													
	地域別	市 内	44	3		1	2	4	6	4	4	3	3	5	9
		市 外	6	1				1		3	1				
		県 外	1								1				
		不 搬 送	11			1		2	1	1	1	1			4

搬 送 人 員	合 計	48	5			3	3	6	8	5	4	3	5	6	
	種 別	火 災													
		急 病	13	2			1	2	1	1	3		1		2
		交通事故	35	3			2	1	5	7	2	4	2	5	4
		上記以外													
	性 別	男	39	5			2	2	4	7	4	4	2	4	5
		女	9				1	1	2	1	1		1	1	1
	傷病程度別	死 亡													
		重 症	1								1				
		中 等 症	9	1				1	1	1	1	1		2	1
軽 症		38	4			3	2	5	7	3	3	3	3	5	
そ の 他															

応急手当等の普及活動状況

〈救命講習等実施状況〉

区	分	合 計	普通救命講習 I	普通救命講習 II	普通救命講習 III	救命入門コース	上級救命講習	応急手当普及員講習
平成25年	実施回数	134	122		4		3	5
	参加人員	5,759	5,506		115		61	77
平成26年	実施回数	141	126		6		6	3
	参加人員	5,796	5,514		159		99	24
平成27年	実施回数	126	112		8		3	3
	参加人員	5,387	5,105		192		49	41
平成28年	実施回数	130	115		8		4	3
	参加人員	5,239	4,971		173		53	42
平成29年	実施回数	116	99		8	4	3	2
	参加人員	4,953	4,626		169	83	29	46
平成30年	実施回数	125	110		10	1	2	2
	参加人員	5,067	4,822		192	16	24	13
令和元年	実施回数	136	114		11	3	3	5
	参加人員	5,112	4,648		265	54	44	101
令和2年	実施回数	47	27		18		1	1
	参加人員	384	218		137		21	8
令和3年	実施回数	185	157	4	11	13		
	参加人員	4,328	4,046	47	120	115		
令和4年	実施回数	226	172		34	9		11
	参加人員	4,771	4,105		413	126		127

〈一般救急講習実施状況〉

区	分	合 計	学 校	保 育 園 稚 園	防 災 会	各種団体	事 業 所	そ の 他
平成25年	実施回数	237	88	9	31	60	45	4
	参加人員	8,042	3,373	125	1,645	1,605	1,191	103
平成26年	実施回数	270	95	9	42	65	57	2
	参加人員	12,483	4,584	176	4,183	2,265	1,249	26
平成27年	実施回数	267	97	12	60	49	40	9
	参加人員	11,699	4,207	318	3,664	2,172	1,032	306
平成28年	実施回数	275	102	8	59	66	37	3
	参加人員	13,867	4,946	178	5,949	2,089	643	62
平成29年	実施回数	278	101	11	53	58	43	12
	参加人員	13,082	4,138	281	4,732	1,894	854	1,183
平成30年	実施回数	261	101	7	50	37	61	5
	参加人員	10,914	3,983	206	3,625	1,333	1,610	157
令和元年	実施回数	263	94	10	42	53	61	3
	参加人員	10,251	3,736	268	2,856	1,596	1,746	49
令和2年	実施回数	18			5	9	4	
	参加人員	462			146	207	109	
令和3年	実施回数	43	28		4	1	7	3
	参加人員	1,004	660		110	144	71	19
令和4年	実施回数	134	57	10	15	16	17	19
	参加人員	3,972	1,783	183	770	493	362	381

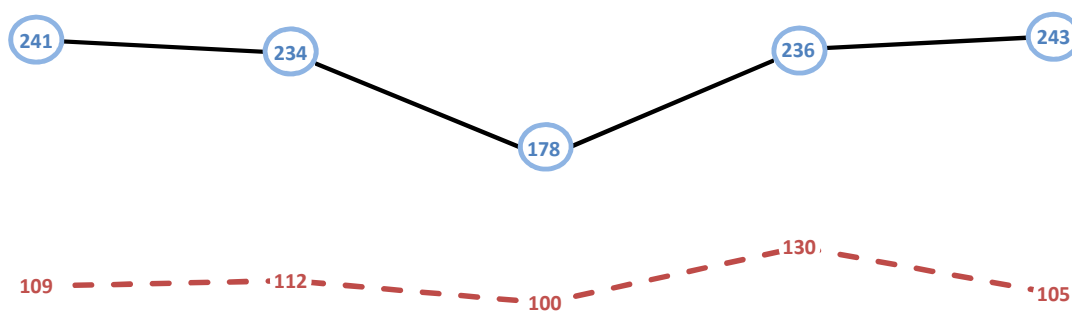
救助活動状況

令和4年中

区 分	出動件数	出 動		活動件数	救助人員
		台 数	人 員		
合 計	243	1,238	3,878	142	105
火 災	6	89	297	6	2
交 通 事 故	44	221	697	27	31
水 難 事 故	3	18	62	1	
風 水 害 等 自 然 災 害 事 故					
機 械 による 事 故	2	10	30	1	1
建 物 等 による 事 故	95	444	1,380	80	47
ガ ス 及 び 酸 欠 事 故	3	15	45	3	
破 裂 事 故					
そ の 他 の 事 故	90	441	1,367	24	24



過去5年間の救助件数及び救助人員の推移



R1

R2

R3

R4

●— 救助件数 - - - 救助人員

※ 令和2年から国の統計事務に併せて、出動件数の算出方法を変更



月別救助出動状況

令和4年中

区 分		合 計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
合 計	出動件数	243	19	18	23	17	29	23	29	19	17	12	13	24
	出動人員	3,878	325	300	350	250	480	384	433	278	246	220	212	400
火 災	出動件数	6	1	1			1	1				1		1
	出動人員	297	55	52			51	35				34		70
交 通 事 故	出動件数	44	2	2	4	5	8	2	5	2	3	4	3	4
	出動人員	697	31	32	65	77	122	35	75	34	42	60	66	58
水 難 事 故	出動件数	3				1		1			1			
	出動人員	62				16		32			14			
風 水 害 等 自 然 災 害 事 故	出動件数													
	出動人員													
機 械 による 事 故	出動件数	2	1		1									
	出動人員	30	15		15									
建 物 等 による 事 故	出動件数	95	11	7	6	4	11	10	11	10	7	4	4	10
	出動人員	1,380	165	100	87	57	162	148	160	142	99	58	59	143
ガ ス 及 び 酸 欠 事 故	出動件数	3		1	1				1					
	出動人員	45		14	15				16					
破 裂 事 故	出動件数													
	出動人員													
そ の 他 の 事 故	出動件数	90	4	7	11	7	9	9	12	7	6	3	6	9
	出動人員	1,367	59	102	168	100	145	134	182	102	91	68	87	129

救助訓練等実施状況

陸上

令和4年度中

月	日	訓練名	場所
5月	25日	高度救助隊新隊員課長査閲	一宮消防署本署
6月	1日		
	9・10日	特別救助隊新隊員課長査閲	木曽川消防署
	22・23日	中部電力パワーグリッド株式会社との合同訓練 (送電設備を使用した訓練)	中部電力パワーグリッド株式会社 岩倉電力センター内送電設備
	27・28日	中部電力パワーグリッド株式会社との合同訓練 (配電設備を使用した訓練)	中部電力パワーグリッド株式会社 殿町訓練場
9月	5日	高度救助隊救助隊長査閲	浅井・西成消防出張所
	5・10日	特別救助隊長査閲	木曽川消防署
10月	11・12日	解体予定施設を利用した救助訓練	音羽プール
11月	25・28日	高度救助隊一宮消防署長査閲	一宮消防署本署
12月	2・15日	特別救助隊木曽川消防署長査閲	木曽川消防署
	16・17日	尾三消防本部との土砂災害対応合同訓練	尾三消防本部訓練場
1月	31日	高度救助隊救助隊長査閲	萩原消防出張所
2月	10・25日	特別救助隊長査閲	木曽川消防署
3月	7・8日	震災対応訓練	名古屋市消防学校

水難

令和4年度中

月	日	訓練名	場所
4月	4・5日	木曽川消防署ウレタンボート取扱い訓練	木曽川及び宝江ボート着水場 (北方町北方字宝江新田地内)
	11・18日	一宮市温水プールにおける水難救助訓練	一宮市温水プール
5月	12日	尾西消防署救命ボート取扱い訓練	富田着水場木曽川左岸及び左岸河川敷(富田字砂原地内)
	27日		尾西消防署
	16日	一宮市温水プールにおける水難救助訓練	一宮市温水プール
	18日	3消防本部合同水難救助訓練	木曽川及び木曽川左岸 (北方町北方字宝江新田地内)
	23日	一宮市温水プールにおける水難救助訓練	一宮市温水プール
	25・26日	潜水ランク認定訓練及び潜水訓練	航空自衛隊小牧基地体育訓練施設
6月	1日	尾張西北部地区消防合同水難救助訓練	木曽川馬飼大橋上流左岸 (稲沢市祖父江町四貫地内)
	7・20日	潜水基本訓練及び潜水各種検索訓練	木曽川及び木曽川左岸河川敷 (奥町字堤下一地内)
8月	1・2日	救助隊及び消防隊による水面救助訓練	木曽川及び木曽川左岸河川敷一帯 (北方町北方字東本郷東地内)
10月	17日	一宮市温水プールにおける水難救助訓練	一宮市温水プール
	19・20日	潜水応用訓練	木曽川及び木曽川左岸河川敷 (奥町字堤下一地内)
	24日	一宮市温水プールにおける水難救助訓練	一宮市温水プール
	29日	高機能救命ボート取扱操縦訓練	木曽川及び木曽川左岸河川敷 (奥町字堤下一地内)
11月	14・21日	一宮市温水プールにおける水難救助訓練	一宮市温水プール
	29日	ドライスーツ潜水訓練	木曽川及び木曽川左岸河川敷一帯 (奥町字堤下一地内)
12月	5日	一宮市温水プールにおける水難救助訓練	一宮市温水プール
	7・8日	潜水応用訓練(自衛隊基地)	航空自衛隊小牧基地体育訓練施設
	12日	一宮市温水プールにおける水難救助訓練	一宮市温水プール
	14日	ドライスーツ潜水訓練	木曽川及び木曽川左岸河川敷一帯 (奥町字堤下一地内)
1月	16・23日	一宮市温水プールにおける水難救助訓練	一宮市温水プール
2月	13・20日	一宮市温水プールにおける水難救助訓練	一宮市温水プール
3月	6・13日	一宮市温水プールにおける水難救助訓練	一宮市温水プール

消 防 五 則

- 一、自分の安全はまず自分から確保します
- 一、平素から業務に耐える気力、体力を錬成します
- 一、いかなる事態においても沈着冷静な行動をとります
- 一、各種資器材の機能、性能を把握し安全操作に習熟します
- 一、災害現場は危険が伴うことを自覚し常に警戒心を保持します

制定 平成二年一月一日

制 定 主 旨

「市民の生命・身体及び財産を災害から守る」という消防の組織目標であり重大な使命の遂行には、常に安全に対する配慮と認識が重要です。

安全管理は、任務遂行を前提とする積極的行動対策と考え制定しました。

2023 年版 消防年報 (第 73 号)

令和 5 年 7 月発行

編集・発行

一宮市消防本部総務課

〒491-0862

一宮市緑1丁目1番10号

TEL 0586-72-0119

FAX 0586-71-1191



一宮市消防本部
《昭和23年創設》



一宮市マスコットキャラクター
「いちみん」消防 Ver.